

# 最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

令和3年11月30日

## 目次


1 本県の経済概況	2～3
2 主な指標の動き	
(1) 個人消費	4～7
(2) 建設需要	8～10
(3) 生産活動	11～12
(4) 雇用・労働	13～15
(5) 物価	16
(6) 企業・金融	17～18
(7) 市場	19
3 主要経済指標	20～26
4 参考	
1 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	27～31
2 景気動向指数(福島県)	32
3 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店)	33
4 月例経済報告(内閣府)	33
5 「最近の県経済動向」総合判断(福島県)	33

福島県 企画調整部 統計課



# 1 本県の経済概況

## 総合判断


前月判断から 前月据置  
の変化方向 

県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。

### 個別判断

### 概要

#### (1) 個人消費

判断の変化方向 

◆ 弱い動きが続いている。

##### ◆ 百貨店・スーパー販売額 (9月)

全店舗ベースで総額約220億円、対前年同月比1.7%増(既存店前年同月比0.8%減)となり、4か月振りに前年を上回っている。

##### ◆ コンビニエンスストア販売額 (9月)

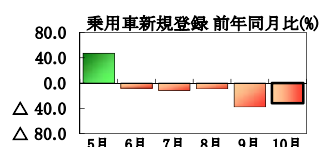
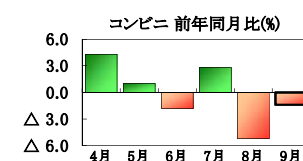
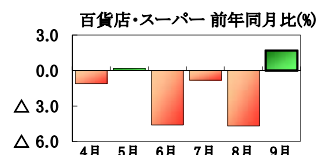
コンビニエンスストア販売額は総額約171億円、対前年同月比1.4%減となり、2か月連続で前年を下回っている。

##### ◆ 専門量販店販売額 (9月)


家電大型専門店は総額約37億円(対前年同月比3.9%減)、ドラッグストアは総額約94億円(同4.8%増)、ホームセンターは総額約53億円(同0.9%減)となっている。

##### ◆ 乗用車新規登録台数 (10月)

新規登録台数は3,581台、対前年同月比31.8%減となり、5か月連続で前年を下回っている。



#### (2) 建設需要

判断の変化方向 

◆ 弱い動きが続いている。

##### ◆ 新設住宅着工戸数 (9月)

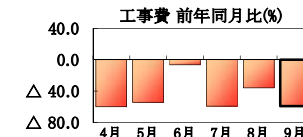
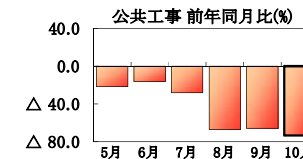
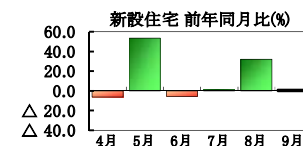
新設住宅着工戸数は771戸、対前年同月比1.2%増となり、3か月連続で前年を上回った。

##### ◆ 公共工事請負金額 (10月)


公共工事請負金額は総額約344億円、対前年同月比73.3%減となり、7か月連続で前年を下回った。

##### ◆ 業務用建築物着工工事費 (9月)

業務用建築物着工工事費は総額約70億円、対前年同月比59.1%減となり、8か月連続で前年を下回っている。



#### (3) 生産活動

判断の変化方向 

◆ 一進一退の状況が続いている。

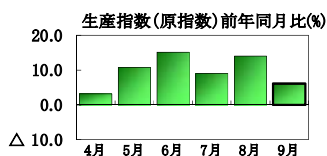
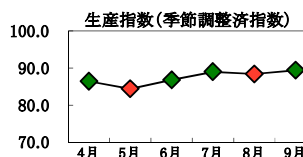
##### ◆ 鉱工業指数 (9月)

鉱工業生産指数・季節調整済指数(速報値)は89.4、対前月比1.1%増となり、2か月振りに前月を上回った。

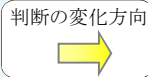
なお、原指数(速報値)は90.1、対前年同月比6.1%増となり、6か月連続で前年を上回った。

鉱工業出荷指数(季節調整済指数・速報値)は88.0、対前月比0.9%減となり、3か月連続で前月を下回った。

鉱工業在庫指数(季節調整済指数・速報値)は106.0、対前月比2.7%増となり、3か月連続で前月を上回った。



(4) 雇用・労働



◆ 厳しい状況にあるものの、緩やかな改善がみられる。

◆ 求人倍率 (9月)

新規求人倍率は2.09倍(季節調整値)、前月から0.40ポイント増加し、2か月振りに前月を上回っている。

有効求人倍率は1.31倍(季節調整値)、前月から0.02ポイント増加し、2か月振りに前月を上回っている。

なお、有効求人数は6か月連続で前年を上回り、有効求職者数は3か月連続で前年を下回っている。

◆ 雇用保険受給者実人員 (9月)

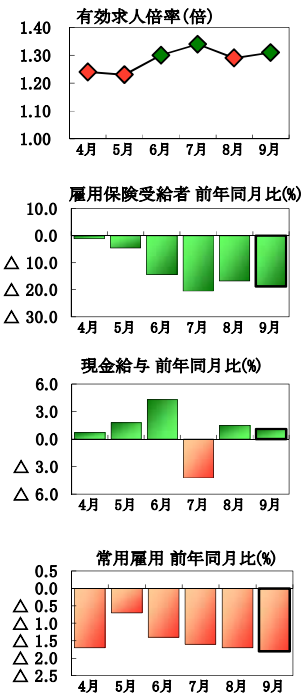
雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員は6,854人、対前年同月比18.8%減となり、8か月連続で前年を下回っている。

◆ 労働 (9月)

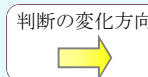
現金給与総額指数は82.7(事業所規模5人以上)、対前年同月比1.1%増となり、2か月連続で前年を上回っている。

所定外労働時間指数は78.5、対前年同月比18.6%増となり、6か月連続で前年を上回っている。

常用雇用指数は102.0、対前年同月比1.8%減となり、12か月連続で前年を下回っている。



(5) 物 価



◆ 企業物価指数は前年を上回り、消費者物価指数は前年を下回っている。

◆ 国内企業物価指数 (10月)

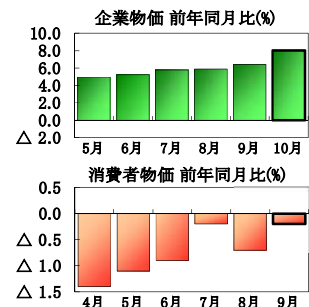
物価指数は107.8(速報値)、対前年同月比8.0%増となり、8か月連続で前年を上回っている。

なお、対前月比は1.3%となっている。

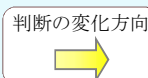
◆ 福島市消費者物価指数 (9月)

物価指数は99.7、対前年同月比0.2%減となり、12か月連続で前年を下回っている。

なお、対前月比は0.6%増となっている。



(6) 企業・金融



◆ 企業倒産件数、負債総額はともに前年を下回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。

◆ 企業倒産 (10月)

倒産件数は4件、対前年同月比71.4%減となり、2か月振りに前年を下回った。

負債総額は1億9,700万円、対前年同月比88.6%減となり、2か月振りに前年を下回った。

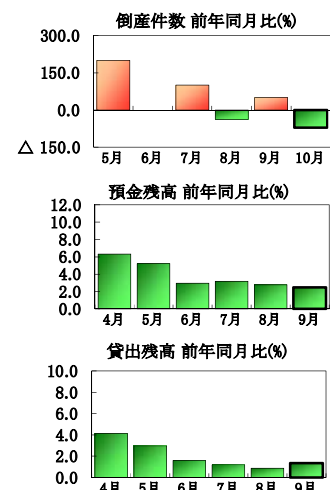
◆ 金融機関預貸残高 (9月)

預金残高は10兆1,954億円、対前年同月比2.5%増となり、令和元年6月以降、前年を上回る動きが続いている。

貸出残高は4兆6,936億円、対前年同月比1.3%増となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。

◆ 貸出約定平均金利 (8月)

平均金利は0.735%となり、前月より0.005ポイント低下し、2か月連続で前月を下回った。

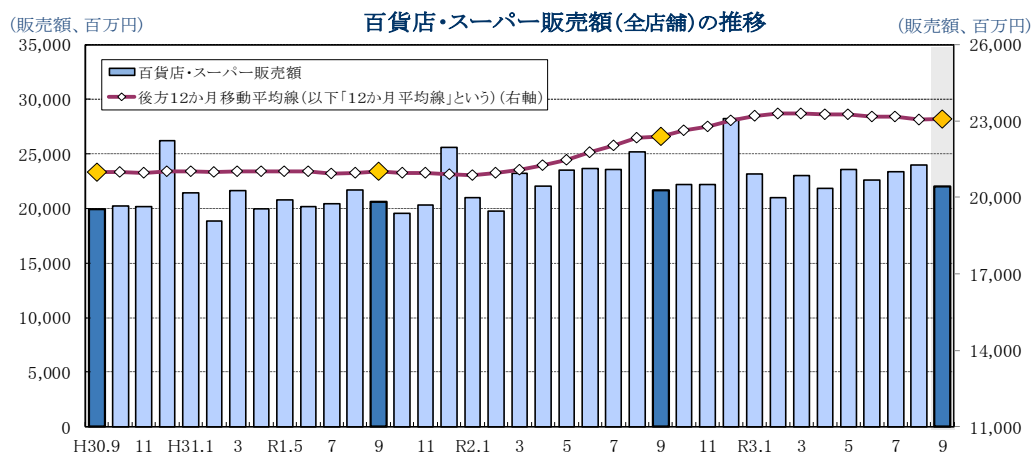


※備考 指標名の色について、前年と比較(鉱工業指数及び求人倍率については、前月と比較)して、改善している指標は緑字、悪化している指標は赤字、同水準である、または個別には判断のつかない指標は灰色で表しています。

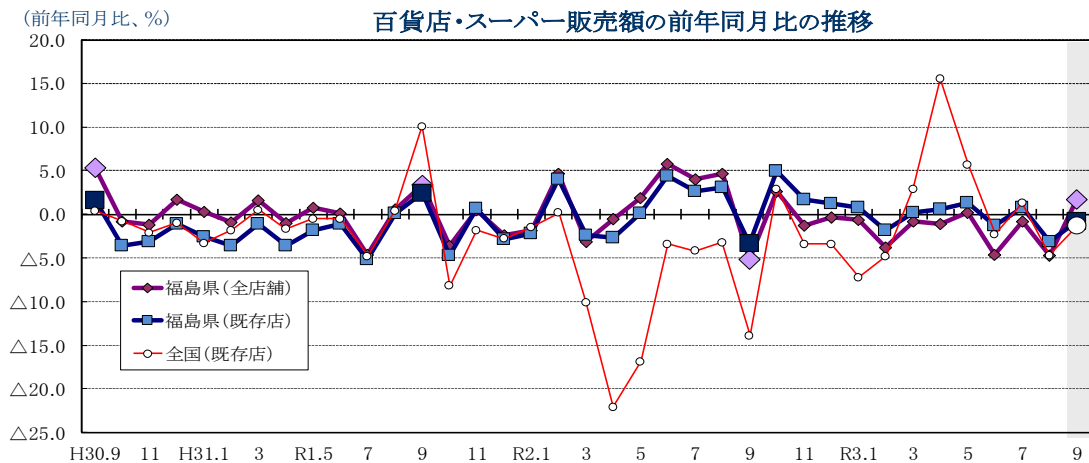
## 2 主な指標の動き

### (1) 個人消費

- ◆ 百貨店・スーパー販売額(9月)は全店舗ベースで総額約220億円、対前年同月比1.7%増となり、4か月振りに前年を上回っている。  
 なお、百貨店・スーパー販売額の既存店ベースは同0.8%減となっている。



(資料 経済産業省)



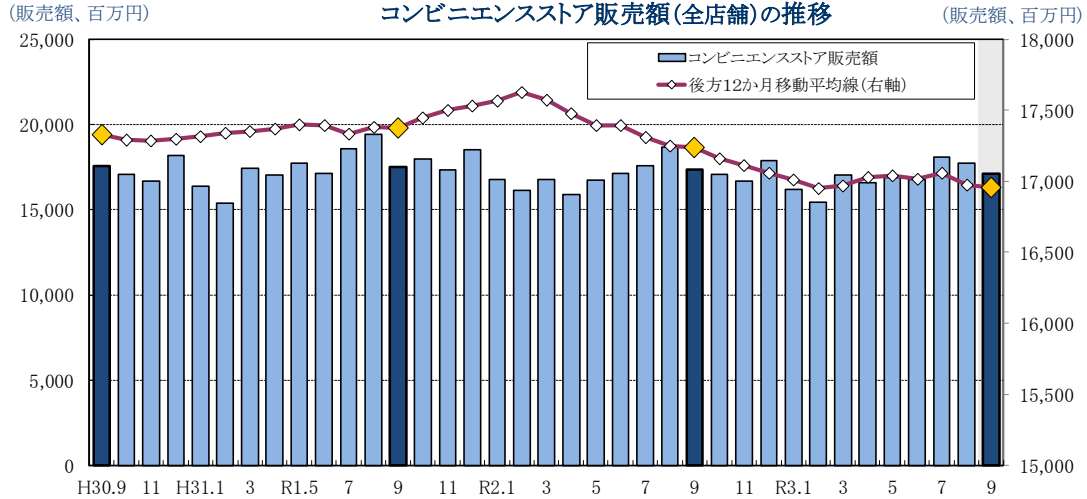
(資料 経済産業省)

#### 【百貨店・スーパー販売額(旧大型小売店販売額)】

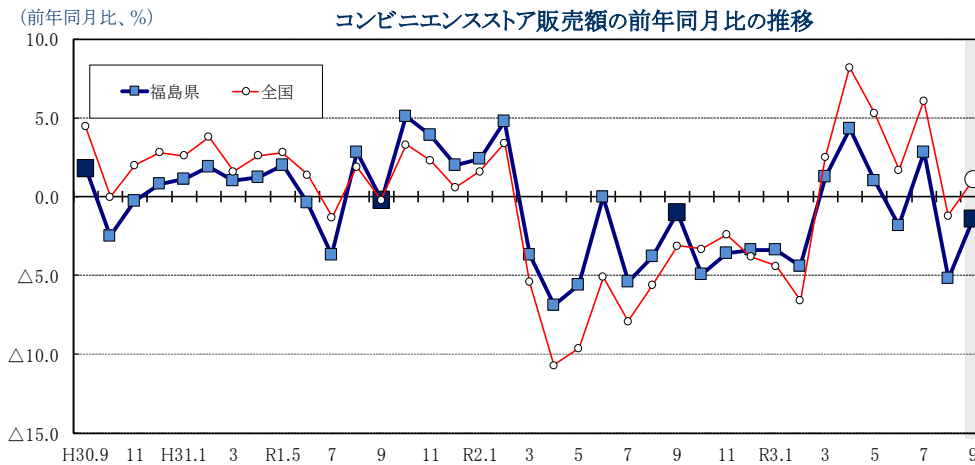
調査対象となる百貨店2店とスーパー116店(9月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれていますので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

なお、令和2年3月分から、調査対象事務所の見直しを行ったため、令和2年2月分以前の月間販売額などとの間に不連続が生じています。なお、前年(同期、同月)比は、ギャップ調整のためリンク係数で処理した数値で計算しています。

◆ コンビニエンスストア販売額(9月)は総額約171億円、対前年同月比1.4%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



(資料 経済産業省)

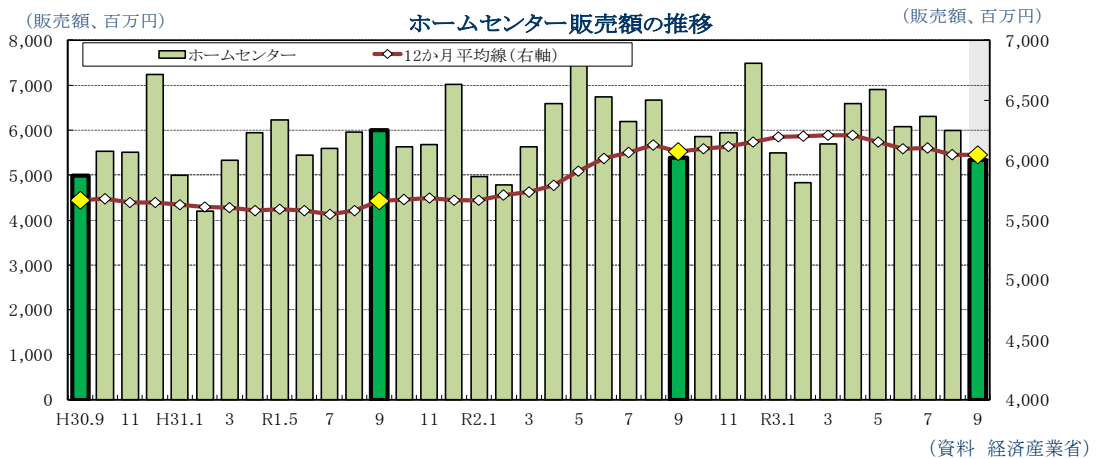
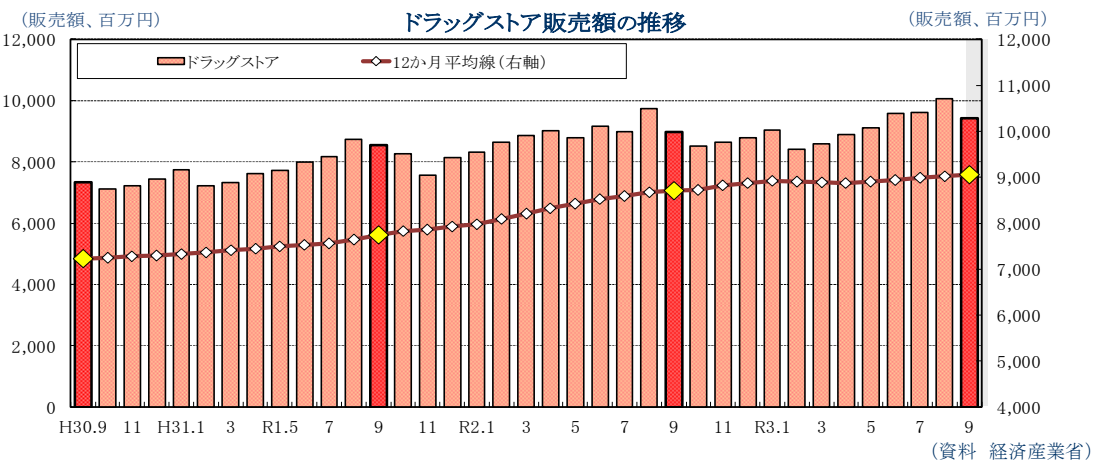
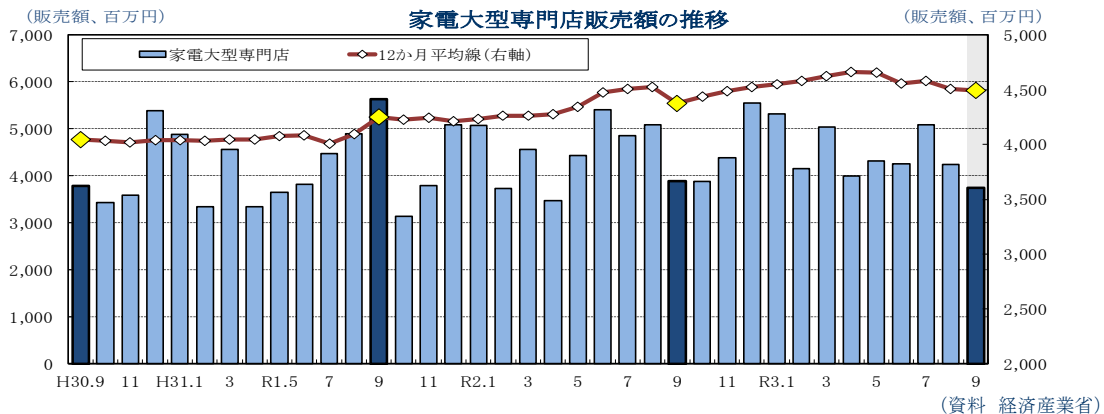


(資料 経済産業省)

### 【コンビニエンスストア販売額】

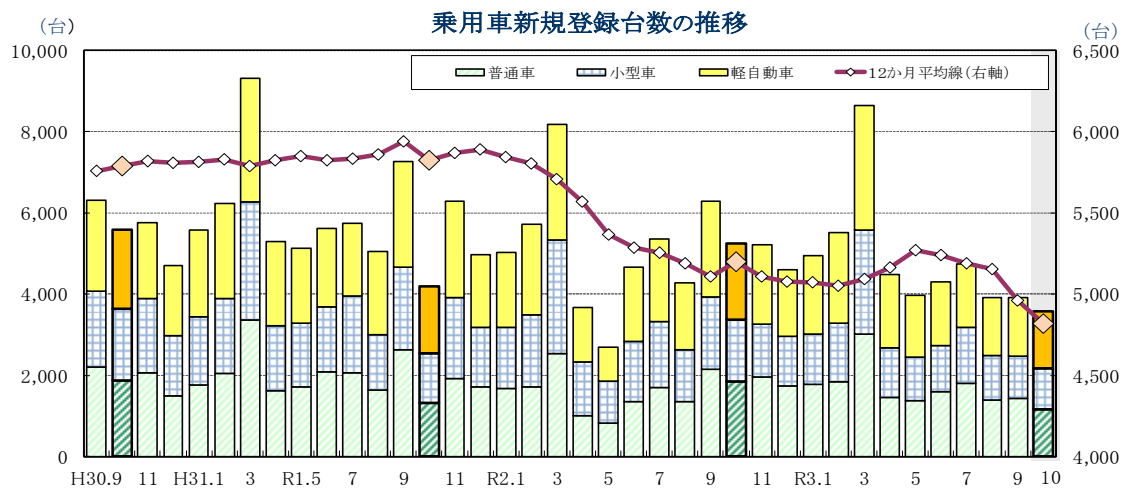
商業動態統計の業態別販売額では、百貨店・スーパー販売額に次ぐ規模であり、平成27年7月分から都道府県別に販売額が公表となりました。店舗数は百貨店・スーパーに比べ約8倍となっており、消費者に身近な店舗として存在感を増してきています。

◆ 専門量販店販売額(9月)は家電大型専門店は総額約37億円、対前年同月比3.9%減となり、2か月連続で前年を下回った。  
 ドラッグストアは総額約94億円、対前年同月比4.8%増となり、5か月連続で前年を上回った。  
 ホームセンターは総額約53億円、対前年同月比0.9%減となり、2か月連続で前年を下回った。

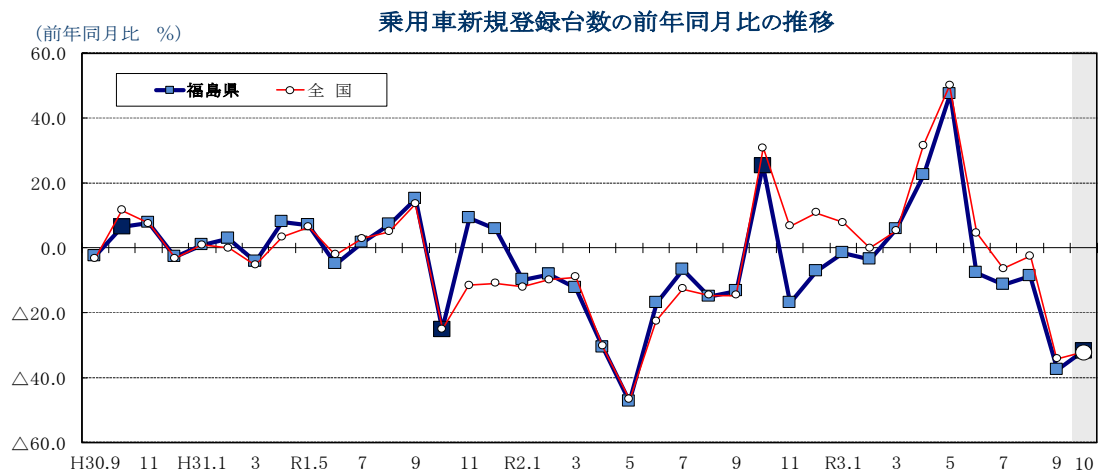


**【専門量販店販売額】**  
 家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター販売額は、平成26年1月分から「専門量販店販売統計」として開始された統計です。家電大型専門店は比較的高額な耐久財を扱っていたり、ドラッグストアやホームセンターは家庭用品や日用雑貨等多品目を扱っていたりと消費者の生活に合わせた商品を販売しているため、消費動向をみる上で注目される指標となってきました。

◆ 乗用車新規登録台数(10月)は3,581台、対前年同月比31.8%減となり、5か月連続で前年を下回っている。  
内訳をみると、全車種で前年を下回った。



(資料 東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)



(資料 東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

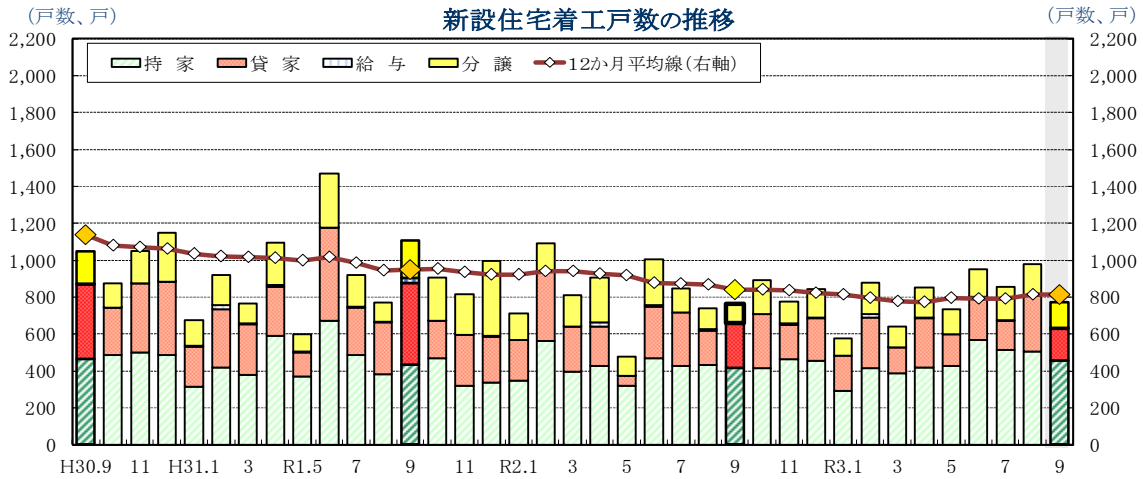
### 【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

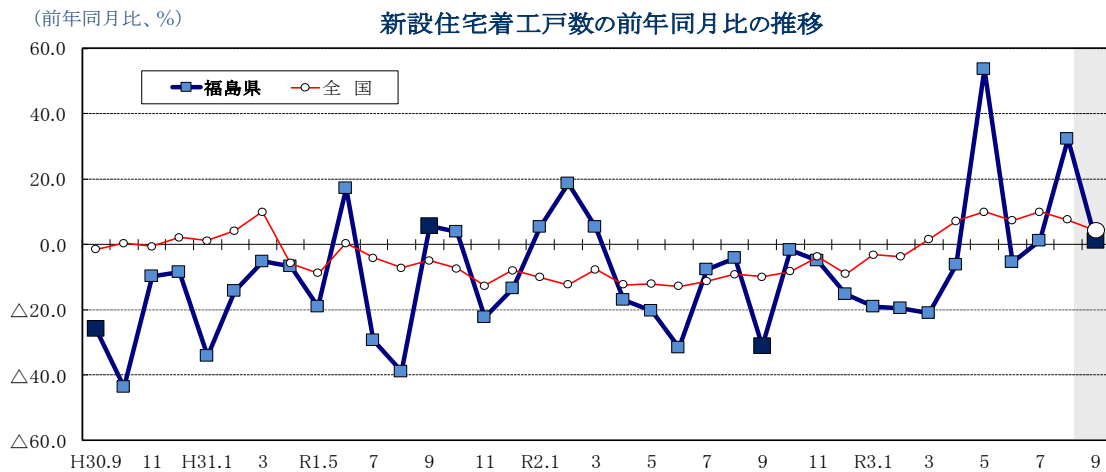


## (2) 建設需要

◆ 新設住宅着工戸数(9月)は771戸、対前年同月比1.2%増となり、3か月連続で前年を上回った。



(資料 国土交通省)



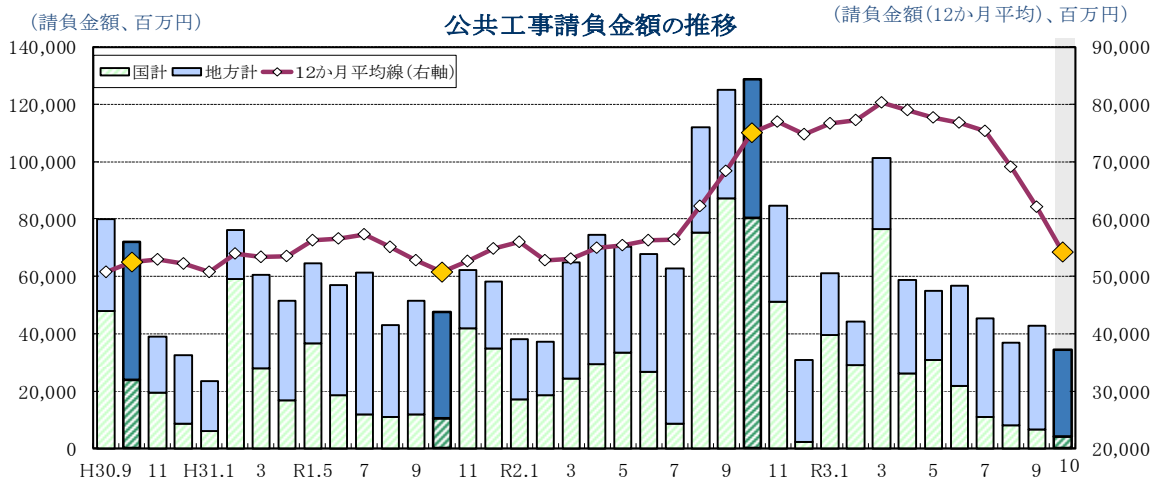
(資料 国土交通省)

### 【新設住宅着工戸数】

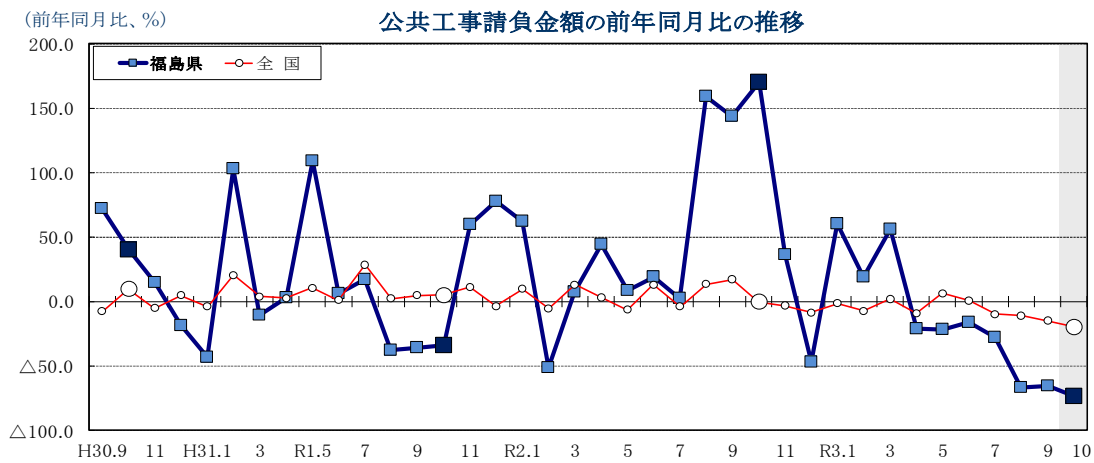
家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。



◆ **公共工事請負金額(10月)**は総額約**344億円**、対前年同月比**73.3%減**となり、**7か月連続**で前年を下回った。  
 内訳をみると、国の機関は3か月連続で前年を下回り、地方の機関は9か月連続で前年を下回っている。



(資料 東日本建設業保証株式会社)

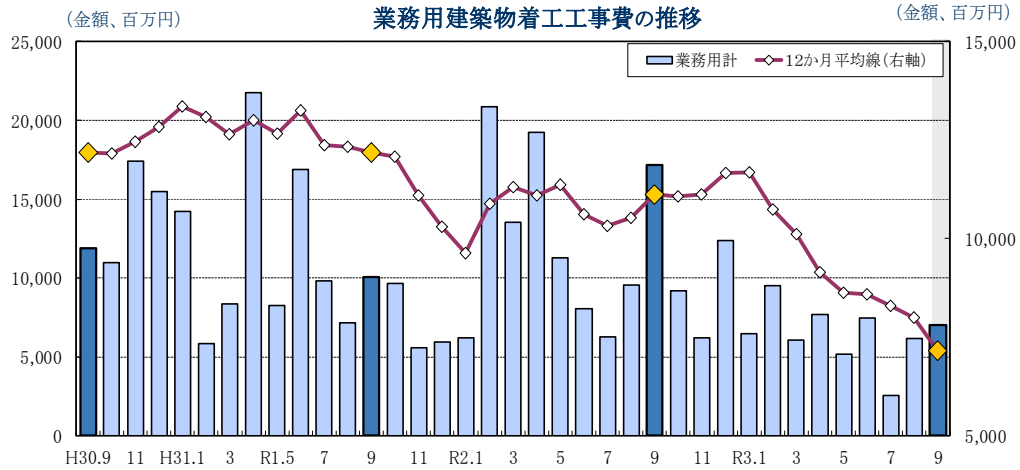


(資料 東日本建設業保証株式会社)

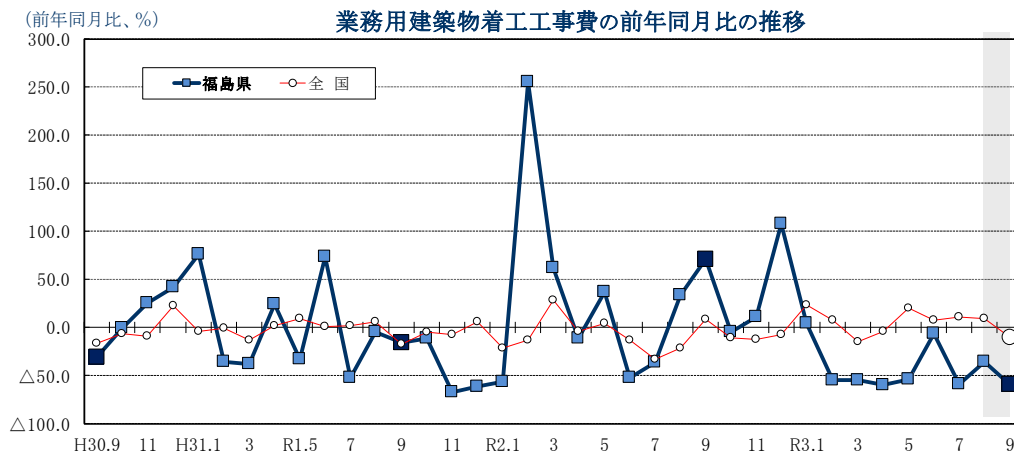
**【公共工事請負額】**

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工工事費(9月)は総額約70億円、対前年同月比59.1%減となり、8か月連続で前年を下回っている。



(資料 国土交通省)



(資料 国土交通省)

### 【業務用建築予定金額】

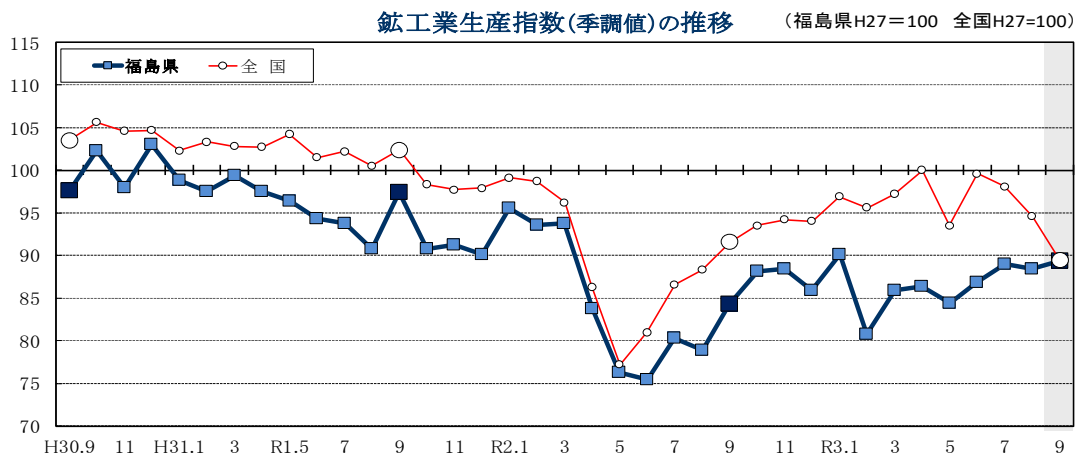
建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならない。この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

### (3) 生産活動

◆ **鉱工業生産指数(9月)**は季節調整済指数**89.4**(速報値)、対前月比**1.1%増**となり、2か月振りに前月を上回った。業種別にみると、19業種のうち化学工業や食料品工業などの9業種で前月を上回ったものの、汎用・生産用・業務用機械工業や電気機械工業などの業種で前月を下回った。  
 なお、**原指数は90.1**(速報値)、対前年同月比**6.1%増**となり、**6か月連続**で前年を上回った。

◆ **鉱工業出荷指数(9月)**は季節調整済指数**88.0**(速報値)、対前月比**0.9%減**となり、3か月連続で前月を下回った。業種別にみると、19業種のうち、ゴム、皮革製品工業や汎用・生産用・業務用機械工業などの9業種で前月を下回った。  
 なお、**原指数は89.1**(速報値)、対前年同月比**2.2%増**となり、**6か月連続**で前年を上回った。

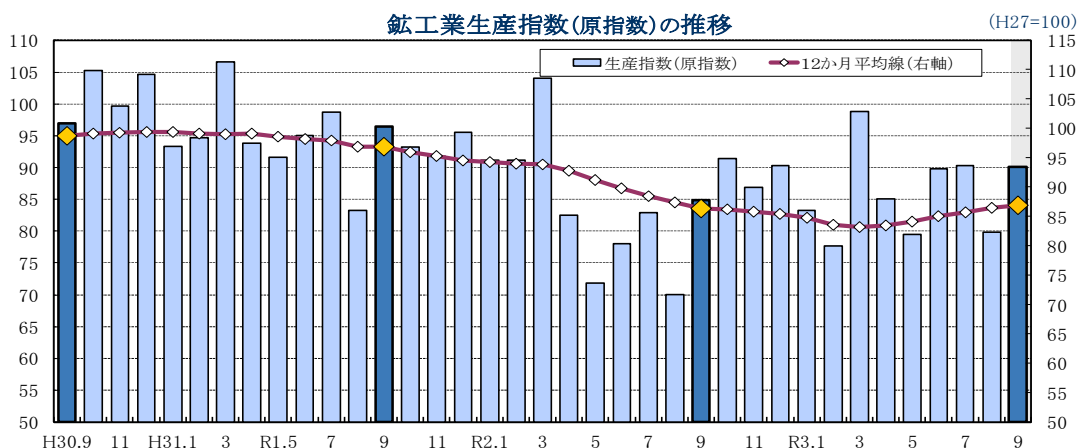
◆ **鉱工業在庫指数(9月)**は季節調整済指数**106.0**(速報値)、対前月比**2.7%増**となり、3か月連続で前月を上回った。  
 なお、**原指数は105.7**(速報値)、対前年同月比**6.0%減**となり、**8か月連続**で前年を下回った。



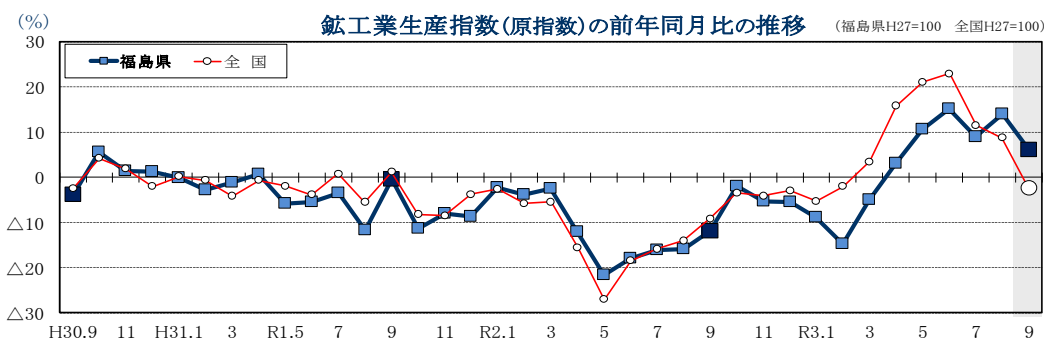
(資料 経済産業省、福島県統計課)

#### 【鉱工業指数】

鉱工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成27年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。



(資料 福島県統計課)



(資料 経済産業省、福島県統計課)

### 【原指数と季節調整済指数】

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

### 【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

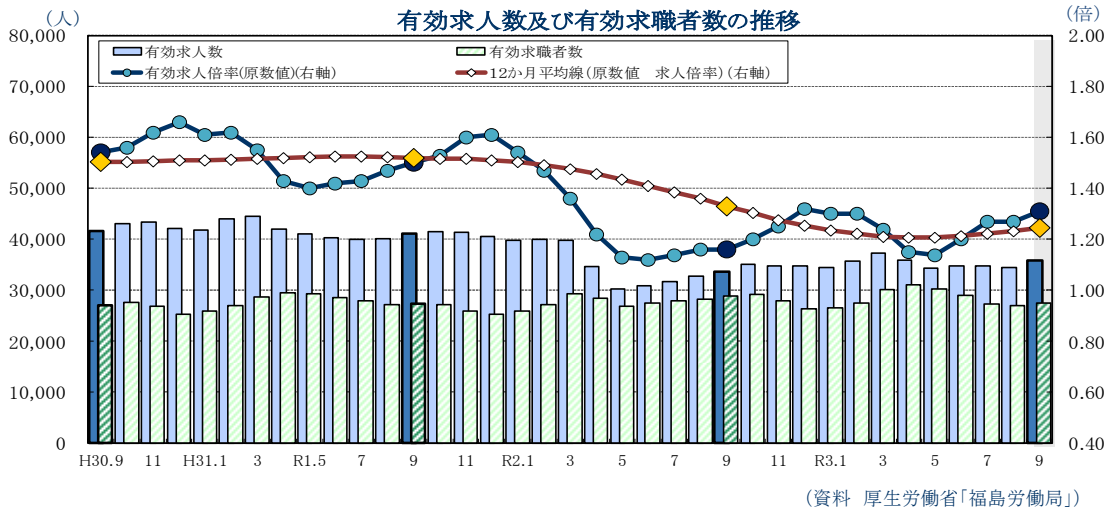
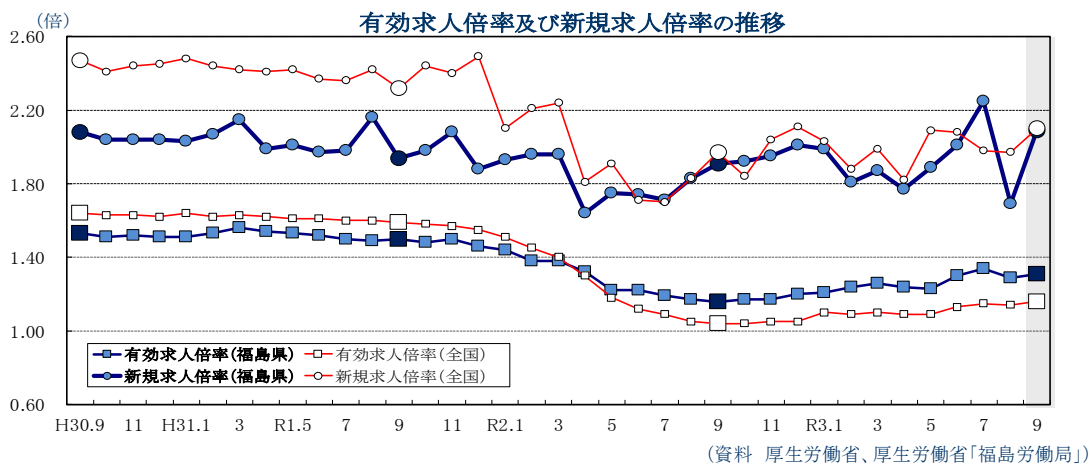
鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で直近の動きをみるというように複合的に利用します。

#### (4) 雇用・労働

◆ **新規求人倍率(9月)**は**2.09**(季節調整値)、前月から**0.40**ポイント増加し、2か月振りに前月を上回っている。

◆ **有効求人倍率(9月)**は**1.31**倍(季節調整値)、前月から**0.02**ポイント増加し、2か月振りに前月を上回っている。

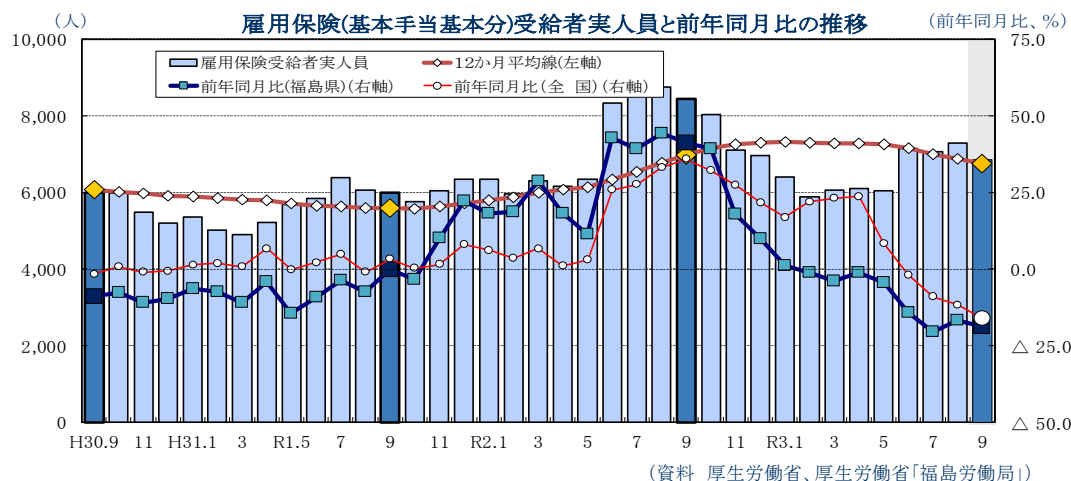
なお、有効求人数は35,805人(対前年同月比6.4%増)となり、6か月連続で前年を上回った。有効求職者数は27,427(同5.3%減)となり、3か月連続で前年を下回った。



#### 【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

◆ 雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員(9月)は6,854人、対前年同月比18.8%減となり、8か月連続で前年を下回っている。



#### 【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

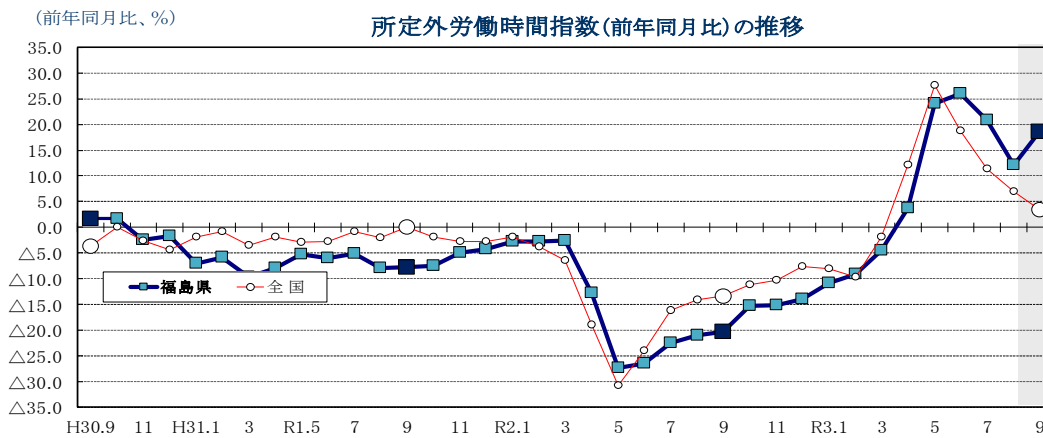
◆ 現金給与総額指数(名目)(9月)は82.7(事業所規模5人以上)、対前年同月比1.1%増となり、2か月連続で前年を上回っている。



#### 【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払った給与すべてを合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

◆ 所定外労働時間指数(9月)は78.5、対前年同月比18.6%増となり、6か月連続で前年を上回っている。

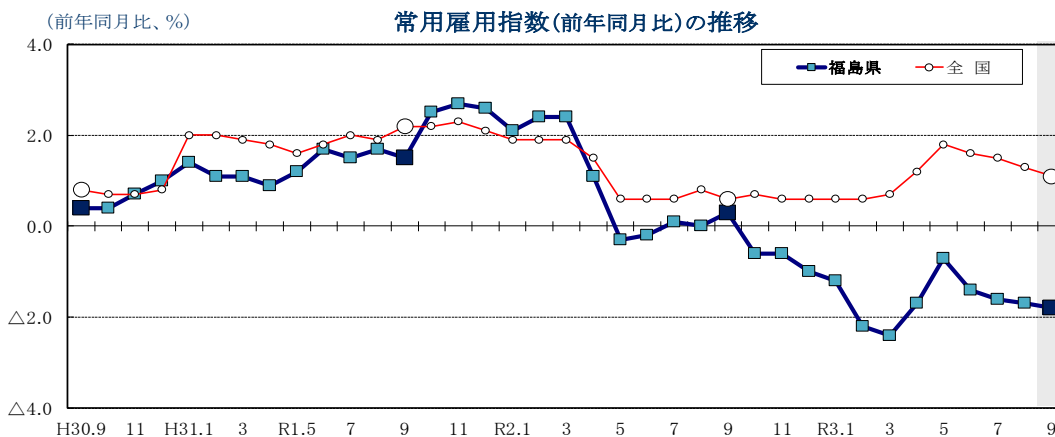


(資料 厚生労働省、福島県統計課)

### 【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(9月)は102.0、対前年同月比1.8%減となり、12か月連続で前年を下回っている。



(資料 厚生労働省、福島県統計課)

### 【常用雇用指数】

常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含み、基準年を100として(現在は平成27年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

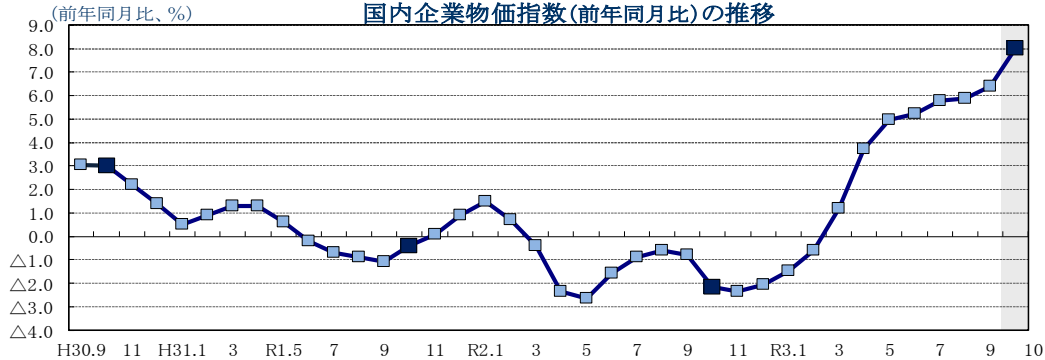
< 毎月勤労統計(常用労働者)…次のいずれかに該当する者 >

- ① 期間を定めずに、又は1か月を超える期間を定めて雇われている
  - ② 日々又は1か月以内の期間を定めて雇われている者のうち、調査期間の前2か月にそれぞれ18日以上雇い入れられた者
- < 雇用保険の適用条件 >
- ① 1週間の所定労働時間が20時間以上
  - ② 31日以上雇用見込みがある



## (5) 物価

- ◆ 国内企業物価指数(10月)は107.8(速報値)、対前年同月比8.0%増となり、8か月連続で前年を上回っている。  
 なお、対前月比は1.3%となっている。



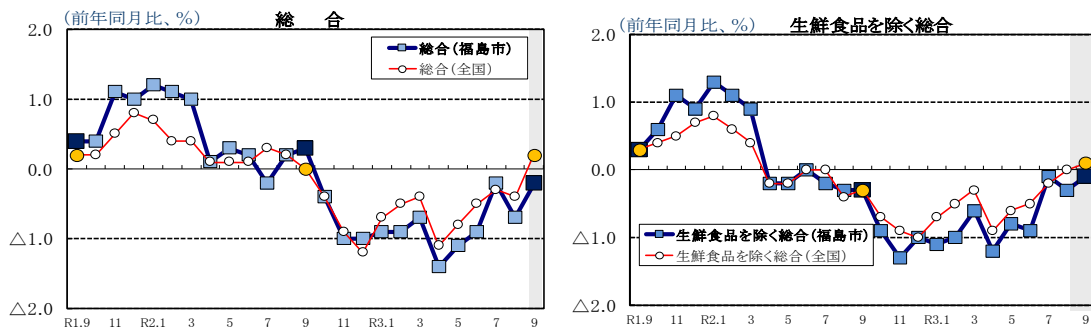
(資料 日本銀行)

### 【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

- ◆ 福島市消費者物価指数(総合)(9月)は99.7、対前年同月比0.2%減となり、12か月連続で前年を下回っている。  
 なお、対前月比は0.6%増となっている。  
 生鮮食品を除く総合では99.5、対前年同月比は0.1%減となっている。  
 また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合では98.9、対前年同月比は0.9%減となっている。

### 消費者物価指数(福島市)(前年同月比)の推移



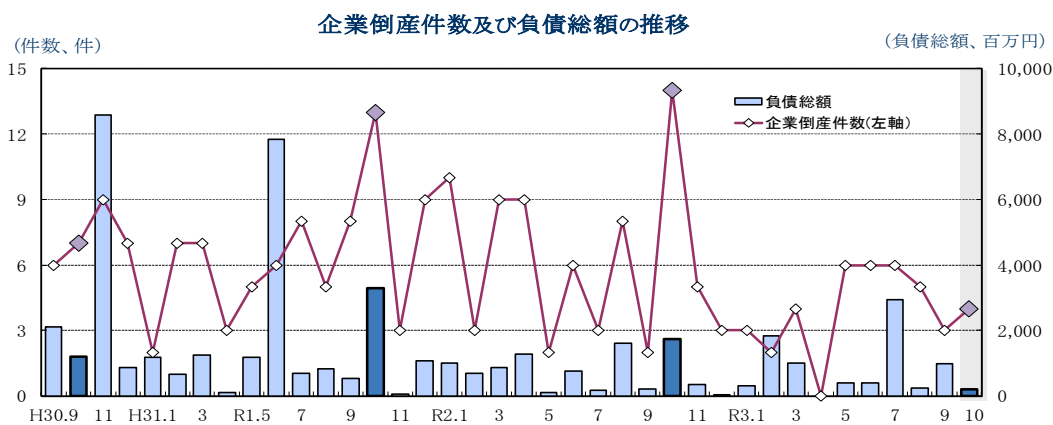
(資料 総務省統計局)

### 【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100(令和2年=100)とし、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向が見えにくくなるため「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすこともあります。

## (6) 企業・金融

◆ **企業倒産(10月)**は、件数が**4件**、対前年同月比**71.4%減**となり、**2か月振りに前年を下回った**。また、負債総額は**1億9,700万円**、対前年同月比**88.6%減**となり、**2か月振りに前年を下回った**。  
倒産件数を業種別にみると、建設業が1件、卸売業が3件となっている。

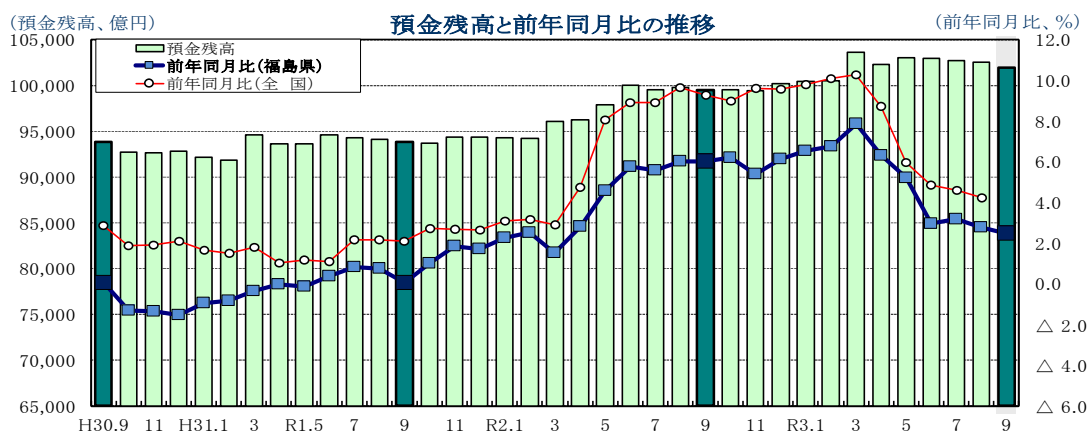


(資料 東京商工リサーチ)

### 【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

◆ **預金残高(9月)**は総額**10兆1,954億円**、対前年同月比**2.5%増**となり、令和元年6月以降、前年を上回る動きが続いている。

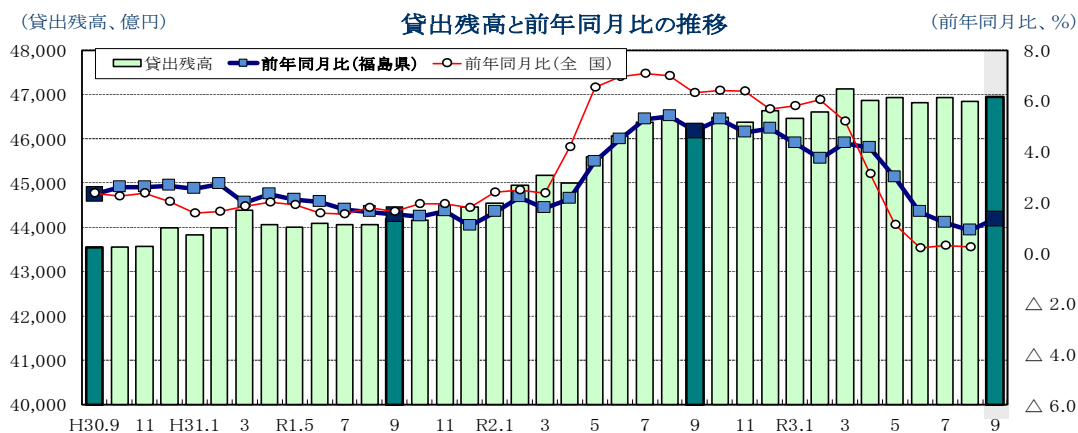


(資料 日本銀行、日本銀行福岡支店)

### 【預金残高】

預金残高の増減は金融機関の信用力と関係し、経営破綻が相次いで信用不安が起これば、預金流出します。法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します(増加する場合は、前文と逆のことが言えます)。

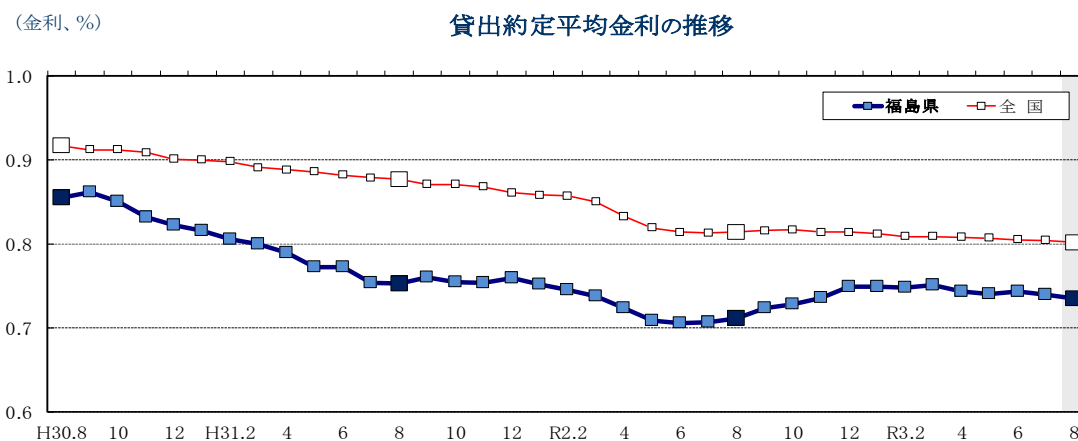
◆ 貸出残高(9月)は総額4兆6,936億円、対前年同月比1.3%増となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。



**【貸出残高】**

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ 貸出約定平均金利(8月)は、0.735%、対前月差0.005ポイント低下し、2か月連続で前月を下回った。

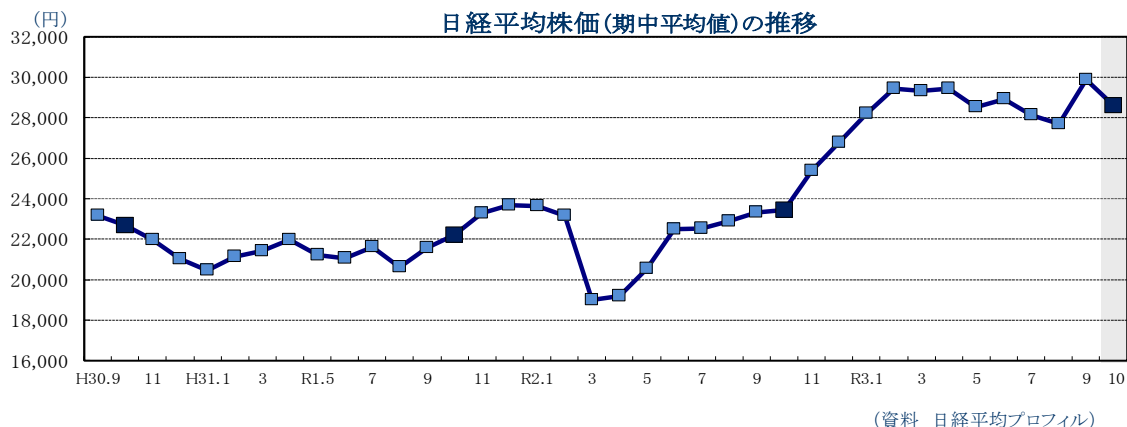


**【貸出約定平均金利】**

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したもので、銀行融資の金利を示す指標です。

## (7) 市場

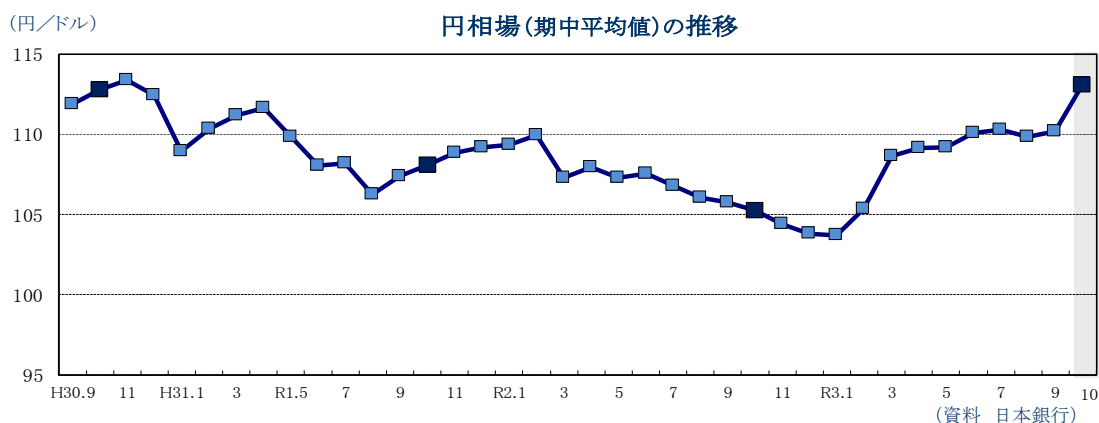
◆ 日経平均株価(10月)は28,586円20銭(期中平均値)、前月より1,307円37銭安となり、2か月振りに前月を下回っている。



### 【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所第一部に上場している225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

◆ 円相場(10月)は113円10銭(期中平均値)、前月より2円92銭円安となっている。



### 【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりし、減れば値下がります。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をしますし、「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となる。一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場は、日本経済全体に多大な影響を与えるため、政府・日銀が介入する場合があります。

### 3 主要経済指標

区分 年月	個人消費											
	1 百貨店・スーパー販売額				2 コンビニエンスストア販売額		3 家電量販店販売額		4 ドラッグストア販売額			
	福島県		全国		福島県		全国		福島県		全国	
	全店舗 (百万円)	既存店 (百万円)	全店舗 (億円)	既存店 (億円)	全店舗 (百万円)	既存店 (億円)	全店舗 (百万円)	既存店 (億円)	全店舗 (百万円)	既存店 (億円)	全店舗 (億円)	既存店 (億円)
平成30年	252,169	-	196,044	-	207,603	119,780	48,438	43,912	87,554	-	63,644	-
1年	250,945	-	193,962	-	210,407	121,841	50,589	45,454	95,058	-	68,356	-
令和2年	276,148	-	195,050	-	204,700	116,423	54,311	47,928	106,420	-	72,841	-
2年 III	70,384	-	49,481	-	53,578	30,136	13,815	12,748	27,706	-	18,456	-
IV	72,614	-	54,120	-	51,685	29,907	13,808	12,602	25,939	-	18,163	-
3年 I	67,210	-	47,953	-	48,652	27,776	14,506	12,210	26,031	-	17,353	-
II	67,918	-	47,356	-	50,266	29,083	12,557	11,126	27,561	-	18,367	-
III	69,401	-	48,779	-	52,855	30,648	13,060	11,670	29,092	-	18,814	-
2年 6月	23,659	-	16,789	-	17,117	9,596	5,405	4,729	9,164	-	6,123	-
7月	23,566	-	16,918	-	17,570	9,908	4,846	4,554	8,983	-	6,202	-
8月	25,189	-	16,882	-	18,675	10,341	5,084	4,523	9,741	-	6,408	-
9月	21,629	-	15,680	-	17,333	9,887	3,885	3,671	8,982	-	5,846	-
10月	22,190	-	16,303	-	17,087	9,973	3,873	3,444	8,517	-	5,813	-
11月	22,188	-	16,781	-	16,707	9,700	4,391	4,004	8,636	-	5,847	-
12月	28,236	-	21,036	-	17,891	10,234	5,544	5,154	8,786	-	6,503	-
3年 1月	23,155	-	16,284	-	16,201	9,290	5,314	4,306	9,026	-	5,854	-
2月	21,028	-	14,969	-	15,444	8,696	4,158	3,492	8,415	-	5,551	-
3月	23,027	-	16,701	-	17,007	9,789	5,034	4,413	8,590	-	5,947	-
4月	21,799	-	15,526	-	16,558	9,618	3,989	3,520	8,876	-	6,010	-
5月	23,551	-	15,410	-	16,905	9,734	4,316	3,820	9,105	-	6,182	-
6月	22,567	-	16,420	-	16,803	9,731	4,252	3,786	9,580	-	6,175	-
7月	23,387	-	17,137	-	18,061	10,484	5,088	4,422	9,610	-	6,339	-
8月	24,013	-	16,079	-	17,712	10,191	4,239	3,697	10,066	-	6,442	-
9月	22,001	-	15,563	-	17,082	9,973	3,733	3,551	9,416	-	6,033	-
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分 年月	対前年同月(期)比(%)																			
	百貨店・スーパー		コンビニエンスストア		家電量販店		ドラッグストア		百貨店・スーパー		コンビニエンスストア		家電量販店		ドラッグストア					
平成30年	0.5	△	2.3	0.0	△	0.5	△	0.1	2.0	△	1.3	2.1	4.8	5.9						
1年	△	0.5	△	2.0	△	1.1	△	1.3	1.4	1.7	4.4	3.5	7.6	5.6						
令和2年	0.9	△	0.9	△	5.4	△	6.6	△	2.7	△	4.4	7.4	5.1	12.0	6.6					
2年 III	1.2	△	0.9	△	5.8	△	7.2	△	3.4	△	5.6	△	7.8	△	4.6	8.8	1.8			
IV	0.2	△	2.5	△	1.2	△	1.6	△	4.0	△	3.2	△	14.9	△	21.6	8.2	6.3			
3年 I	△	1.7	△	0.2	△	2.1	△	2.9	△	2.1	△	2.8	△	8.5	△	10.9	0.8	△	2.8	
II	△	1.9	△	0.2	△	5.8	△	5.7	△	1.1	△	5.0	△	5.7	△	4.1	2.2	△	0.1	
III	△	1.4	△	1.1	△	1.4	△	1.6	△	1.3	△	2.0	△	5.5	△	8.5	5.0	△	1.9	
2年 6月	5.8	△	4.4	△	2.3	△	3.4	△	0.0	△	5.1	△	41.2	△	25.6	14.7	△	6.4		
7月	4.0	△	2.6	△	3.2	△	4.2	△	5.4	△	7.9	△	8.5	△	12.1	10.0	△	5.5		
8月	4.7	△	3.1	△	1.2	△	3.2	△	3.8	△	5.6	△	3.9	△	9.5	11.3	△	9.0		
9月	△	5.2	△	3.3	△	12.8	△	13.9	△	1.0	△	3.1	△	31.0	△	29.0	4.9	△	8.2	
10月	2.6	△	4.9	△	4.0	△	2.9	△	4.9	△	3.3	△	23.3	△	29.0	3.2	△	7.2		
11月	△	1.3	△	1.7	△	3.2	△	3.4	△	3.6	△	2.4	△	15.7	△	25.3	14.0	△	7.0	
12月	△	0.4	△	1.2	△	3.3	△	3.4	△	3.4	△	3.8	△	9.2	△	14.7	7.9	△	5.0	
3年 1月	△	0.6	△	0.8	△	5.8	△	7.2	△	3.4	△	4.4	△	4.7	△	11.4	8.6	△	3.0	
2月	△	3.8	△	1.8	△	3.3	△	4.8	△	4.4	△	6.6	△	11.4	△	7.2	△	2.5	△	8.5
3月	△	0.8	△	0.2	△	2.8	△	2.9	△	1.3	△	2.5	△	10.3	△	13.6	△	3.2	△	2.4
4月	△	1.1	△	0.6	△	15.7	△	15.5	△	4.3	△	8.2	△	14.7	△	14.5	△	1.6	△	2.8
5月	0.2	△	1.3	△	6.0	△	5.7	△	1.0	△	5.3	△	2.7	△	0.7	3.7	△	1.9		
6月	△	4.6	△	1.3	△	2.2	△	2.3	△	1.8	△	1.7	△	21.3	△	19.9	4.5	△	0.8	
7月	△	0.8	△	0.8	△	1.3	△	1.3	△	2.8	△	6.1	△	5.0	△	2.9	7.0	△	2.2	
8月	△	4.7	△	3.1	△	4.8	△	4.7	△	5.2	△	1.2	△	16.6	△	18.3	3.3	△	0.5	
9月	△	1.7	△	0.8	△	0.7	△	1.3	△	1.4	△	1.1	△	3.9	△	3.3	4.8	△	3.2	
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	旧大型小売店販売額																			
資料 出所	経済産業省「商業動態統計」																			

※四半期値の1期は1～3月期、II期は4～6月期、III期は7～9月期、IV期は10～12月期を表す。

区分	個人消費				建設需要					
	5 ホームセンター販売額		6 乗用車新規登録台数		7 新設住宅着工戸数		8 公共工事請負金額		9 業務用建築物着工工事費	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(戸)	(百万円)	(億円)	(百万円)	(億円)
平成30年	67,795	32,853	69,716	4,386	12,761	942,370	640,276	140,680	154,059	97,557
1年	67,990	32,748	70,688	4,296	11,043	905,123	637,005	150,255	123,530	95,684
令和2年	73,829	34,964	60,941	3,804	9,868	815,340	962,898	153,658	139,909	86,878
2年 III	18,245	8,978	15,927	991	2,351	209,531	299,819	43,373	32,989	20,137
IV	19,293	9,067	15,080	990	2,511	207,126	244,224	29,585	27,752	21,217
3年 I	16,012	7,654	19,106	1,195	2,095	190,999	206,507	27,969	22,014	22,115
II	19,568	9,093	12,739	845	2,539	221,011	170,347	51,582	20,332	26,077
III	17,639	8,366	12,569	829	2,607	224,663	124,928	38,156	15,740	20,713
2年 6月	6,732	3,148	4,657	283	1,007	71,101	67,656	16,386	8,019	7,652
7月	6,188	3,013	5,354	330	849	70,244	62,909	15,432	6,263	6,560
8月	6,669	3,223	4,280	270	740	69,101	111,907	13,009	9,541	6,233
9月	5,388	2,742	6,293	390	762	70,186	125,003	14,932	17,184	7,344
10月	5,863	2,797	5,251	339	891	70,685	128,700	13,426	9,179	6,904
11月	5,940	2,821	5,219	336	777	70,798	84,618	8,814	6,211	6,434
12月	7,490	3,448	4,610	314	843	65,643	30,906	7,345	12,361	7,878
3年 1月	5,489	2,576	4,947	324	578	58,448	61,170	6,328	6,473	7,077
2月	4,826	2,344	5,512	361	877	60,764	44,230	6,485	9,482	7,809
3月	5,697	2,733	8,647	510	640	71,787	101,107	15,156	6,060	7,229
4月	6,592	3,034	4,480	288	852	74,521	58,644	20,940	7,672	7,545
5月	6,903	3,228	3,967	261	734	70,178	54,985	14,133	5,168	10,284
6月	6,073	2,831	4,292	296	953	76,312	56,718	16,508	7,492	8,249
7月	6,308	2,940	4,744	309	858	77,182	45,291	13,898	2,568	7,302
8月	5,991	2,772	3,903	263	978	74,303	36,882	11,575	6,136	6,795
9月	5,340	2,654	3,922	257	771	73,178	42,755	12,682	7,037	6,617
10月	-	-	3,581	230	-	-	34,415	10,767	-	-

	対前年同月(期)比(%)										対前年同月(期)比(%)	
平成30年	△ 1.6	△ 0.3	△ 2.0	0.1	△ 13.2	△ 2.3	3.2	1.1	△ 1.4	0.7	△ 1.4	0.7
1年	0.3	△ 0.3	△ 1.4	△ 2.0	△ 13.5	△ 4.0	△ 0.5	6.8	△ 19.8	△ 1.9	△ 19.8	△ 1.9
令和2年	8.6	6.8	△ 13.8	△ 11.5	△ 10.6	△ 9.9	51.2	2.3	13.3	△ 9.2	13.3	△ 9.2
2年 III	4.0	4.0	△ 11.7	△ 14.1	△ 16.0	△ 10.1	92.4	7.5	22.0	△ 16.3	22.0	△ 16.3
IV	5.2	8.1	△ 2.4	15.3	△ 7.6	△ 7.0	45.4	△ 3.4	30.7	5.4	30.7	5.4
3年 I	4.3	3.5	△ 1.0	4.2	△ 19.8	△ 1.6	47.5	△ 1.1	45.8	4.2	45.8	4.2
II	△ 6.5	△ 4.5	15.7	25.0	6.1	8.1	△ 19.8	△ 2.2	47.3	17.9	47.3	17.9
III	△ 3.3	△ 6.8	△ 21.1	△ 16.4	10.9	7.2	△ 58.3	△ 12.0	52.3	△ 20.6	52.3	△ 20.6
2年 6月	23.8	17.3	△ 17.2	△ 22.7	△ 31.5	△ 12.8	18.9	13.2	52.4	△ 13.7	52.4	△ 13.7
7月	10.7	10.6	△ 6.7	△ 12.8	△ 7.8	△ 11.3	2.6	△ 4.1	36.2	△ 33.1	36.2	△ 33.1
8月	11.9	12.5	△ 15.2	△ 14.8	△ 4.1	△ 9.1	159.3	13.2	33.5	△ 21.9	33.5	△ 21.9
9月	△ 10.1	△ 9.9	△ 13.3	△ 14.7	△ 31.0	△ 9.9	143.5	17.1	70.8	8.5	70.8	8.5
10月	4.1	9.7	25.3	30.8	△ 1.8	△ 8.3	170.3	△ 0.4	5.1	△ 10.4	5.1	△ 10.4
11月	4.7	7.3	△ 17.0	6.7	△ 4.9	△ 3.7	36.1	△ 3.3	11.0	△ 12.6	11.0	△ 12.6
12月	6.6	7.6	△ 7.3	10.8	△ 15.2	△ 9.0	△ 46.9	△ 8.6	107.5	△ 7.3	107.5	△ 7.3
3年 1月	10.8	10.7	△ 1.7	7.7	△ 18.9	△ 3.1	60.6	△ 1.4	4.5	23.1	4.5	23.1
2月	1.1	△ 0.1	△ 3.6	△ 0.1	△ 19.5	△ 3.7	19.1	△ 7.3	54.6	7.7	54.6	7.7
3月	1.3	0.4	5.8	5.3	△ 21.0	1.5	56.0	1.9	55.3	△ 14.6	55.3	△ 14.6
4月	0.0	1.6	22.3	31.6	△ 6.2	7.1	△ 21.2	△ 9.2	60.1	△ 4.2	60.1	△ 4.2
5月	△ 9.3	△ 4.7	47.3	50.0	53.6	9.9	△ 21.7	6.3	54.3	20.5	54.3	20.5
6月	△ 9.8	△ 10.1	△ 7.8	4.5	△ 5.4	7.3	△ 16.2	0.7	6.6	7.8	6.6	7.8
7月	1.9	△ 2.4	△ 11.4	△ 6.5	1.1	9.9	△ 28.0	△ 9.9	59.0	11.3	59.0	11.3
8月	△ 10.2	△ 14.0	△ 8.8	△ 2.5	32.2	7.5	△ 67.0	△ 11.0	35.7	9.0	35.7	9.0
9月	△ 0.9	△ 3.2	△ 37.7	△ 34.3	1.2	4.3	△ 65.8	△ 15.1	59.1	△ 9.9	59.1	△ 9.9
10月	-	-	△ 31.8	△ 32.3	-	-	△ 73.3	△ 19.8	-	-	-	-
備考			乗用車、軽自動車の計		持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計		年表示は、年度ベース 国の機関と地方の機関の計		全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの			
資料 出所	経済産業省「商業動態統計」		東北運輸局 全国軽自動車販売連合会 資料		国土交通省「住宅着工統計」		東日本建設保証㈱「公共工事請負金保証統計」		国土交通省「建築着工統計」			

区分	生産活動											
	10 鉱工業生産指数				11 鉱工業出荷指数				12 鉱工業在庫指数			
	福島県		全国		福島県		全国		福島県		全国	
年月	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数
平成30年	-	-	99.4	104.2	-	-	103.4	103.0	-	-	98.7	102.0
1年	-	-	94.5	101.1	-	-	97.1	100.2	-	-	116.6	103.6
令和2年	-	-	85.4	90.6	-	-	86.9	89.6	-	-	114.8	100.6
2年 III	81.2	88.8	79.3	88.4	84.7	87.8	82.6	87.5	112.8	98.6	112.9	99.4
IV	87.5	93.9	89.5	96.7	88.3	93.0	90.7	95.7	116.3	96.0	113.1	94.9
3年 I	85.6	96.6	86.6	96.6	85.2	94.9	88.0	95.6	107.4	94.8	110.8	94.4
II	85.9	97.7	84.8	95.7	88.6	95.6	85.4	92.8	103.0	94.7	102.1	95.2
III	88.9	94.1	86.7	93.5	89.2	91.7	86.9	91.2	103.5	96.0	103.6	96.8
2年 6月	75.4	81.0	78.0	82.7	78.6	81.1	78.9	82.9	116.4	100.8	117.8	101.5
7月	80.3	86.6	82.9	90.0	85.1	85.4	87.2	87.8	112.1	99.5	111.8	101.3
8月	78.9	88.3	70.0	79.8	82.9	87.4	73.5	79.6	113.4	98.6	114.3	100.2
9月	84.3	91.6	84.9	95.4	86.1	90.7	87.2	95.1	112.9	97.6	112.5	96.7
10月	88.2	93.5	91.4	97.0	88.5	92.7	91.4	95.7	115.4	96.6	112.3	96.1
11月	88.4	94.2	86.9	95.3	88.8	93.5	88.2	94.0	118.8	95.4	113.7	95.4
12月	85.9	94.0	90.3	97.8	87.6	92.9	92.4	97.4	114.6	96.0	113.4	93.2
3年 1月	90.1	96.9	83.2	88.4	89.3	95.6	83.4	86.8	114.4	95.1	117.2	96.5
2月	80.8	95.6	77.7	92.6	81.9	94.4	79.1	91.5	106.4	94.4	110.5	95.1
3月	85.9	97.2	98.8	108.7	84.3	94.8	101.5	108.5	101.4	94.8	104.6	91.7
4月	86.4	100.0	85.1	98.8	89.9	97.7	86.6	95.6	109.0	94.7	105.8	93.6
5月	84.4	93.5	79.5	86.6	84.9	92.3	78.3	84.1	102.1	93.7	101.6	95.7
6月	86.8	99.6	89.8	101.7	91.0	96.7	91.3	98.8	97.8	95.7	98.9	96.4
7月	89.0	98.1	90.3	100.4	90.9	96.4	91.8	97.6	101.2	95.0	101.0	96.7
8月	88.4	94.6	79.8	86.8	88.8	92.2	79.9	85.3	103.2	94.9	104.0	96.5
9月	89.4	89.5	90.1	93.2	88.0	86.6	89.1	90.8	106.0	98.1	105.7	97.2
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)	
平成30年	-	-	0.5	1.1	-	-	1.1	0.8	-	-	4.1	2.6
1年	-	-	△ 4.9	△ 3.0	-	-	△ 6.1	△ 2.7	-	-	18.1	1.6
令和2年	-	-	△ 9.6	△ 10.4	-	-	△ 10.5	△ 10.6	-	-	△ 1.5	△ 2.9
2年 III	3.4	9.0	△ 14.5	△ 13.0	4.4	9.2	△ 14.0	△ 13.5	△ 2.5	△ 4.1	△ 5.8	△ 5.3
IV	7.8	5.7	△ 4.3	△ 3.5	4.3	5.9	△ 3.2	△ 3.5	3.1	△ 2.6	3.3	△ 8.5
3年 I	△ 2.2	2.9	△ 9.2	△ 1.0	△ 3.5	2.0	△ 8.3	△ 1.4	△ 7.7	△ 1.3	△ 6.3	△ 9.9
II	0.4	1.1	9.6	19.9	4.0	0.7	9.3	18.8	△ 4.1	△ 0.1	△ 11.1	△ 7.9
III	3.5	△ 3.7	9.3	5.8	0.7	△ 4.1	5.2	4.2	0.5	1.4	△ 8.2	△ 2.6
2年 6月	△ 1.2	4.9	△ 18.0	△ 18.4	2.2	6.9	△ 18.7	△ 16.7	0.2	△ 1.8	△ 3.0	△ 3.3
7月	6.5	6.9	△ 16.0	△ 15.9	8.3	5.3	△ 14.3	△ 16.8	△ 3.7	△ 1.3	△ 9.4	△ 4.7
8月	△ 1.7	2.0	△ 15.9	△ 14.0	△ 2.6	2.3	△ 15.3	△ 14.3	1.2	△ 0.9	△ 4.7	△ 5.6
9月	6.8	3.7	△ 11.9	△ 9.1	3.9	3.8	△ 12.6	△ 9.6	△ 0.4	△ 1.0	△ 3.4	△ 5.7
10月	4.6	2.1	△ 1.9	△ 3.4	2.8	2.2	△ 3.7	△ 3.3	2.2	△ 1.0	7.7	△ 8.1
11月	0.2	0.7	△ 5.3	△ 4.1	0.3	0.9	△ 4.2	△ 4.1	2.9	△ 1.2	6.4	△ 9.1
12月	△ 2.8	△ 0.2	△ 5.4	△ 2.9	△ 1.4	△ 0.6	△ 1.7	△ 3.2	△ 3.5	0.6	△ 3.4	△ 8.4
3年 1月	4.9	3.1	△ 8.8	△ 5.3	1.9	2.9	△ 7.8	△ 5.3	△ 0.2	△ 0.9	3.6	△ 10.2
2月	△ 10.3	△ 1.3	△ 14.7	△ 2.0	△ 8.3	△ 1.3	△ 12.4	△ 3.2	△ 7.0	△ 0.7	△ 8.8	△ 9.5
3月	6.3	1.7	△ 5.0	3.4	2.9	0.4	△ 5.3	3.4	△ 4.7	0.4	△ 13.4	△ 9.8
4月	0.6	2.9	3.2	15.8	6.6	3.1	2.4	16.2	7.5	△ 0.1	△ 4.7	△ 9.8
5月	△ 2.3	△ 6.5	10.7	21.1	△ 5.6	△ 5.5	10.4	21.5	△ 6.3	△ 1.1	△ 12.1	△ 8.7
6月	2.8	6.5	15.1	23.0	7.2	4.8	15.7	19.2	△ 4.2	2.1	△ 16.0	△ 5.0
7月	2.5	△ 1.5	8.9	11.6	△ 0.1	△ 0.3	5.3	11.2	3.5	△ 0.7	△ 9.7	△ 4.5
8月	△ 0.7	△ 3.6	14.0	8.8	△ 2.3	△ 4.4	8.7	7.2	2.0	△ 0.1	△ 9.0	△ 3.7
9月	1.1	△ 5.4	6.1	△ 2.3	△ 0.9	△ 6.1	2.2	△ 4.5	2.7	3.4	△ 6.0	0.5
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	福島県：平成27年=100 全国：平成27年=100				福島県：平成27年=100 全国：平成27年=100				福島県：平成27年=100 全国：平成27年=100			
資料 出所	福島県統計課「福島県鉱工業指数月報」 経済産業省「鉱工業指数」											



区分	雇用・労働									
	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率		15 有効求人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者 実人員	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)
平成30年	2.03	2.39	1.51	1.61	42,371	2,780	28,054	1,725	5,919	373,623
1年	2.04	2.42	1.51	1.60	41,547	2,737	27,490	1,710	5,717	382,429
令和2年	1.85	1.95	1.25	1.18	34,883	2,161	27,812	1,828	7,300	456,759
2年 III	1.82	1.83	1.17	1.06	32,690	1,978	28,349	1,906	8,692	547,951
IV	1.96	2.00	1.18	1.05	34,976	2,103	27,814	1,925	7,366	498,934
3年 I	1.89	1.97	1.24	1.10	35,911	2,176	28,080	1,908	6,111	443,638
II	1.89	2.00	1.26	1.10	35,033	2,087	30,096	2,086	6,430	448,220
III	2.01	2.02	1.31	1.15	35,041	1,921	27,300	2,160	7,069	480,864
2年 6月	1.74	1.71	1.22	1.12	30,941	1,930	27,553	1,835	8,338	486,371
7月	1.71	1.70	1.19	1.09	31,701	1,959	27,899	1,869	8,892	533,170
8月	1.83	1.83	1.17	1.05	32,715	1,967	28,185	1,906	8,743	554,557
9月	1.91	1.97	1.16	1.04	33,654	2,009	28,964	1,942	8,440	556,126
10月	1.92	1.84	1.17	1.04	35,190	2,097	29,217	1,988	8,024	535,676
11月	1.95	2.04	1.17	1.05	34,886	2,116	27,887	1,936	7,114	491,268
12月	2.01	2.11	1.20	1.05	34,853	2,095	26,338	1,850	6,961	469,858
3年 1月	1.99	2.03	1.21	1.10	34,510	2,112	26,565	1,841	6,396	448,514
2月	1.81	1.88	1.24	1.09	35,829	2,170	27,516	1,889	5,880	436,891
3月	1.87	1.99	1.26	1.10	37,393	2,244	30,158	1,995	6,056	445,510
4月	1.77	1.82	1.24	1.09	35,849	2,167	31,046	2,091	6,100	434,243
5月	1.89	2.09	1.23	1.09	34,367	2,098	30,222	2,047	6,047	432,845
6月	2.01	2.08	1.30	1.13	34,882	1,996	29,020	2,119	7,143	477,573
7月	2.25	1.98	1.34	1.15	34,885	1,916	27,383	2,121	7,071	485,281
8月	1.69	1.97	1.29	1.14	34,432	1,918	27,089	2,158	7,282	490,102
9月	2.09	2.10	1.31	1.16	35,805	1,929	27,427	2,202	6,854	467,208
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前月(期) (ポイント)				対前年同月(期)比(%)				対前年同月(期)比(%)			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
平成30年	0.05	0.15	0.06	0.11	△ 1.0	3.1	△ 4.8	3.8	△ 6.3	△ 2.5		
1年	0.01	0.03	0.00	△ 0.01	△ 1.9	△ 1.6	△ 2.0	△ 0.8	△ 3.4	2.4		
令和2年	△ 0.19	△ 0.47	△ 0.26	△ 0.42	△ 16.0	△ 21.0	1.2	6.9	27.7	19.4		
2年 III	0.11	0.02	△ 0.08	△ 0.14	△ 19.1	△ 26.6	3.0	11.2	41.5	32.2		
IV	0.14	0.17	0.01	△ 0.01	△ 15.0	△ 22.1	6.6	16.6	21.8	27.1		
3年 I	△ 0.07	△ 0.03	0.06	0.05	△ 10.0	△ 14.4	2.2	13.0	△ 1.4	20.6		
II	0.00	0.03	0.02	0.00	9.6	3.2	9.0	16.4	△ 7.4	8.7		
III	0.12	0.02	0.05	0.05	7.2	△ 2.9	△ 3.7	13.4	△ 18.7	△ 12.2		
2年 6月	△ 0.01	△ 0.20	0.00	△ 0.06	△ 23.3	△ 28.1	△ 3.3	3.5	42.7	25.8		
7月	△ 0.03	△ 0.01	△ 0.03	△ 0.03	△ 20.8	△ 27.7	△ 0.1	7.2	39.3	27.6		
8月	0.12	0.13	△ 0.02	△ 0.04	△ 18.4	△ 26.6	3.5	12.2	44.3	33.2		
9月	0.08	0.14	△ 0.01	△ 0.01	△ 18.2	△ 25.5	5.7	14.3	41.1	35.8		
10月	0.01	△ 0.13	0.01	0.00	△ 15.3	△ 23.2	7.7	16.5	39.1	32.2		
11月	0.03	0.20	0.00	0.01	△ 15.8	△ 21.7	7.7	16.8	17.8	27.4		
12月	0.06	0.07	0.03	0.00	△ 14.0	△ 21.4	4.4	16.6	9.7	21.7		
3年 1月	△ 0.02	△ 0.08	0.01	0.05	△ 13.4	△ 17.7	2.5	12.3	1.0	16.9		
2月	△ 0.18	△ 0.15	0.03	△ 0.01	△ 10.3	△ 15.4	1.2	12.4	△ 1.2	22.0		
3月	0.06	0.11	0.02	0.01	△ 6.3	△ 10.0	2.8	14.1	△ 4.0	23.1		
4月	△ 0.10	△ 0.17	△ 0.02	△ 0.01	3.3	△ 1.4	9.4	17.5	△ 1.1	23.6		
5月	0.12	0.27	△ 0.01	0.00	13.5	8.2	12.5	16.2	△ 4.5	8.4		
6月	0.12	△ 0.01	0.07	0.04	12.7	3.5	5.3	15.5	△ 14.3	△ 1.8		
7月	0.24	△ 0.10	0.04	0.02	10.0	△ 2.2	△ 1.8	13.5	△ 20.5	△ 9.0		
8月	△ 0.56	△ 0.01	△ 0.05	△ 0.01	5.2	△ 2.5	△ 3.9	13.2	△ 16.7	△ 11.6		
9月	0.40	0.13	0.02	0.02	6.4	△ 4.0	△ 5.3	13.4	△ 18.8	△ 16.0		
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考	学卒を除きパートを含む。											
	新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均										四半期値は各期ごとの平均	
資料 出所	福島労働局職業安定部「最近の雇用失業情勢について」、「雇用失業情勢」											

区分	雇用・労働								物価
	18 現金給与総額 指数(名目)		19 所定外労働 時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム 労働者比率		22 国内企 業物価指数
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国
							(%)	(%)	
平成30年	97.4	103.7	91.2	98.5	101.8	105.8	24.1	30.9	101.3
1年	99.7	102.2	85.2	96.2	103.5	107.9	25.0	31.5	101.5
令和2年	96.4	100.9	72.3	83.5	104.0	109.0	24.9	31.1	100.3
2年 III	94.4	96.3	65.4	80.0	103.9	109.1	24.9	30.9	100.2
IV	110.1	116.1	74.1	88.2	104.1	109.7	25.4	31.4	99.9
3年 I	85.4	86.7	75.7	86.3	102.5	109.2	25.1	31.2	101.5
II	99.1	105.2	78.5	87.3	102.2	110.3	25.1	30.8	104.0
III	93.5	96.8	76.7	85.8	102.1	110.5	24.4	31.3	106.2
2年 6月	122.8	140.4	62.3	72.7	103.5	108.7	23.6	30.7	99.6
7月	115.1	116.9	66.2	80.0	103.8	109.1	24.7	30.8	100.2
8月	86.3	86.6	63.8	77.3	104.0	109.2	25.1	30.9	100.3
9月	81.8	85.4	66.2	82.7	103.9	109.1	25.0	31.1	100.1
10月	82.7	85.7	73.1	87.3	104.1	109.5	25.1	31.2	99.8
11月	85.5	88.9	73.8	88.2	104.2	109.7	25.5	31.5	99.7
12月	162.0	173.6	75.4	89.1	104.0	109.8	25.7	31.5	100.2
3年 1月	85.2	86.1	70.0	83.6	103.4	109.5	25.0	31.2	100.8
2月	83.5	84.2	76.2	84.5	102.5	109.3	24.9	31.3	101.3
3月	87.4	89.7	80.8	90.9	101.5	108.9	25.3	31.2	102.3
4月	85.8	88.3	81.5	91.8	102.4	110.3	25.1	30.7	103.2
5月	83.3	86.8	75.4	83.6	102.2	110.3	25.4	30.8	103.9
6月	128.1	140.4	78.5	86.4	102.0	110.4	24.7	30.9	104.8
7月	110.3	117.6	80.0	89.1	102.1	110.7	24.2	31.2	106.0
8月	87.6	87.1	71.5	82.7	102.2	110.6	24.5	31.3	106.2
9月	82.7	85.6	78.5	85.5	102.0	110.3	24.4	31.2	106.5
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	107.8

	対前月(期) (ポイント)								対前年同月(期) (%)
平成30年	△ 1.9	△ 1.4	△ 2.5	△ 1.5	0.5	1.1	1.5	0.1	2.6
1年	2.4	△ 0.3	△ 6.6	△ 1.9	1.7	2.0	0.9	0.6	0.2
令和2年	△ 3.3	△ 1.2	△ 15.1	△ 13.2	0.5	1.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 1.2
2年 III	△ 2.9	△ 1.3	△ 21.3	△ 14.6	0.1	0.7	1.2	0.4	△ 0.8
IV	△ 3.2	△ 2.1	△ 14.8	△ 9.6	△ 0.7	0.7	0.5	0.5	△ 2.2
3年 I	0.9	△ 0.4	△ 8.1	△ 6.6	△ 1.9	0.6	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3
II	2.6	0.9	16.8	19.0	△ 1.3	1.5	0.0	△ 0.4	4.6
III	△ 0.9	0.5	17.2	7.2	△ 1.7	1.3	△ 0.7	0.5	6.0
2年 6月	△ 7.5	△ 2.0	△ 26.4	△ 23.9	△ 0.2	0.6	0.3	0.4	△ 1.6
7月	△ 2.4	△ 1.5	△ 22.5	△ 16.2	0.1	0.6	1.1	0.1	△ 0.9
8月	△ 4.2	△ 1.3	△ 21.0	△ 14.1	0.0	0.8	0.4	0.1	△ 0.6
9月	△ 2.4	△ 0.9	△ 20.3	△ 13.4	0.3	0.6	△ 0.1	0.1	△ 0.8
10月	△ 1.1	△ 0.7	△ 15.2	△ 11.1	△ 0.6	0.7	0.1	0.1	△ 2.2
11月	△ 0.6	△ 1.8	△ 15.1	△ 10.2	△ 0.6	0.6	0.4	0.3	△ 2.4
12月	△ 5.5	△ 3.0	△ 14.0	△ 7.6	△ 1.0	0.6	0.2	0.0	△ 2.1
3年 1月	△ 1.7	△ 1.3	△ 10.8	△ 8.0	△ 1.2	0.6	△ 0.7	△ 0.3	△ 1.5
2月	1.8	△ 0.4	△ 9.1	△ 9.7	△ 2.2	0.6	△ 0.1	0.1	△ 0.6
3月	2.6	0.6	△ 4.5	△ 1.9	△ 2.4	0.7	0.4	△ 0.1	1.2
4月	0.7	1.4	3.8	12.2	△ 1.7	1.2	△ 0.2	△ 0.5	3.7
5月	1.8	1.9	24.0	27.6	△ 0.7	1.8	0.3	0.1	4.9
6月	4.3	0.1	26.0	18.8	△ 1.4	1.6	△ 0.7	0.1	5.2
7月	△ 4.2	0.6	20.8	11.4	△ 1.6	1.5	△ 0.5	0.3	5.8
8月	1.5	0.6	12.1	7.0	△ 1.7	1.3	0.3	0.1	5.9
9月	1.1	0.2	18.6	3.4	△ 1.8	1.1	△ 0.1	△ 0.1	6.4
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0
備考	全産業5人以上 平成27年=100								平成27年=100 総平均
資料 出所	福島県統計課「福島県の賃金・労働時間及び雇用の動き」 厚生労働省「毎月勤労統計」								日本銀行「企業 物価指数」

区分	23 消費者物価指数				24 企業倒産				25 金融機関預貸残高			
	福島市		全国		福島県		全国		福島県		全国	
	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	預金残高	貸出残高	預金残高	貸出残高
年月				(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)	
平成30年	99.2	99.2	99.5	99.5	78	21,922	8,235	14,855	92,767	43,987	77,908	51,548
1年	99.9	100.1	100.0	100.2	76	18,691	8,384	14,255	94,350	44,459	79,957	52,466
令和2年	100.0	100.0	100.0	100.0	74	8,886	7,773	12,201	100,141	46,630	87,619	55,444
2年 III	99.8	99.6	100.0	99.8	13	2,023	2,021	2,440	99,491	46,313	86,664	55,332
IV	99.6	99.6	99.5	99.6	22	2,132	1,751	3,190	100,141	46,630	87,619	55,444
3年 I	99.8	99.8	99.8	99.9	9	3,153	1,554	2,903	103,599	47,118	89,887	55,812
II	98.9	99.0	99.3	99.4	12	808	1,490	3,213	102,979	46,804	90,280	55,525
III	99.4	99.4	99.8	99.8	14	4,161	1,447	2,533	101,954	46,936	-	-
2年 6月	99.9	99.9	99.9	100.0	6	764	780	1,288	100,022	46,066	86,096	55,413
7月	99.6	99.7	100.0	100.0	3	173	789	1,008	99,502	46,379	86,064	55,408
8月	99.8	99.5	100.1	99.8	8	1,625	667	724	99,758	46,437	86,522	55,380
9月	99.9	99.7	99.9	99.7	2	225	565	707	99,491	46,313	86,664	55,332
10月	99.9	99.7	99.8	99.7	14	1,734	624	783	99,497	46,483	86,727	55,265
11月	99.5	99.6	99.5	99.6	5	360	569	1,021	99,466	46,378	87,706	55,480
12月	99.3	99.5	99.3	99.6	3	38	558	1,385	100,141	46,630	87,619	55,444
3年 1月	99.9	99.8	99.8	99.8	3	298	474	814	100,396	46,468	87,838	55,475
2月	99.6	99.7	99.8	99.9	2	1,851	446	675	100,531	46,602	88,189	55,647
3月	99.8	100.0	99.9	100.1	4	1,004	634	1,415	103,599	47,118	89,887	55,812
4月	98.8	98.9	99.1	99.3	0	0	477	841	102,315	46,855	90,378	55,700
5月	99.0	99.2	99.4	99.5	6	400	472	1,687	103,016	46,939	90,806	55,597
6月	99.0	99.0	99.5	99.5	6	408	541	686	102,979	46,804	90,280	55,525
7月	99.3	99.5	99.7	99.8	6	2,945	476	715	102,671	46,930	90,032	55,557
8月	99.1	99.2	99.7	99.8	5	242	466	910	102,528	46,836	90,166	55,495
9月	99.7	99.5	100.1	99.8	3	974	505	909	101,954	46,936	-	-
10月	-	-	-	-	4	197	525	985	-	-	-	-

対前年同月(期)比(%)												
平成30年	0.9	0.8	1.0	0.9	39.3	9.5	△ 2.0	△ 53.1	△ 1.5	2.6	2.1	2.0
1年	0.7	0.9	0.5	0.6	△ 2.6	△ 14.7	△ 1.8	△ 4.0	1.7	1.1	2.6	1.8
令和2年	0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 2.6	△ 52.5	△ 7.3	△ 14.4	6.1	4.9	9.6	5.7
2年 III	△ 0.1	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 38.1	△ 0.5	△ 7.4	△ 16.9	6.0	4.8	9.3	6.3
IV	△ 0.9	△ 1.1	△ 0.9	△ 0.9	△ 12.0	△ 51.8	△ 20.8	△ 13.7	6.1	4.9	9.6	5.7
3年 I	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 59.1	△ 22.4	△ 28.2	△ 3.9	7.8	4.3	10.3	5.2
II	△ 1.2	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.6	△ 29.4	△ 62.5	△ 18.9	△ 9.5	3.0	1.6	4.9	0.2
III	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.0	7.7	105.7	△ 28.4	3.8	2.5	1.3	-	-
2年 6月	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	△ 90.3	6.3	48.1	5.8	4.5	8.9	6.9
7月	△ 0.2	△ 0.2	0.3	0.0	△ 62.5	△ 74.9	△ 1.6	7.9	5.6	5.3	8.9	7.1
8月	0.2	△ 0.3	0.2	△ 0.4	60.0	99.1	△ 1.6	△ 16.9	6.0	5.4	9.6	7.0
9月	0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 75.0	△ 57.5	△ 19.5	△ 37.4	6.0	4.8	9.3	6.3
10月	△ 0.4	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.7	7.7	△ 47.5	△ 20.0	△ 11.6	6.2	5.3	9.0	6.4
11月	△ 1.0	△ 1.3	△ 0.9	△ 0.9	66.7	592.3	△ 21.8	△ 17.7	5.4	4.7	9.6	6.4
12月	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.2	△ 1.0	△ 66.7	△ 96.4	△ 20.7	△ 11.7	6.1	4.9	9.6	5.7
3年 1月	△ 0.9	△ 1.1	△ 0.7	△ 0.7	△ 70.0	△ 70.6	△ 38.7	△ 34.8	6.5	4.3	9.8	5.8
2月	△ 0.9	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 33.3	170.6	△ 31.5	△ 5.3	6.8	3.7	10.1	6.0
3月	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.3	△ 55.6	14.2	△ 14.3	33.5	7.8	4.3	10.3	5.2
4月	△ 1.4	△ 1.2	△ 1.1	△ 0.9	△ 100.0	△ 100.0	△ 35.8	△ 42.0	6.3	4.1	8.7	3.1
5月	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6	200.0	263.6	50.3	107.4	5.2	3.0	6.0	1.1
6月	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.5	△ 0.5	0.0	△ 46.6	△ 30.6	△ 46.8	3.0	1.6	4.9	0.2
7月	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	100.0	1,602.3	△ 39.7	△ 29.1	3.2	1.2	4.6	0.3
8月	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.4	0.0	△ 37.5	△ 85.1	△ 30.1	25.6	2.8	0.9	4.2	0.2
9月	△ 0.2	△ 0.1	0.2	0.1	50.0	332.9	△ 10.6	28.4	2.5	1.3	-	-
10月	-	-	-	-	△ 71.4	△ 88.6	△ 15.9	25.7	-	-	-	-
備考	令和2年=100 対前年同月(期)比は旧基準年による公表値				負債総額1,000万円以上				年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫 の計(13銀行(県内店舗分)、8信金(県外店舗含む))			
資料 出所	総務省統計局「消費者物価指数」				㈱東京商工リサーチ福島支店・郡山支店「福島県企業倒産状況」、㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」				預金残高は実質預金(総預金から切手手形を控除したもの) 日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」、日本銀行「金融経済統計月報」			

区分	企業・金融		中小企業の業況							市場	
	26 貸出約定平均金利		27 中小企業業況DI							28 株式	29 円相場
			福島県							株価	
年月	福島県	全国	全産業	製造業	非製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	東証株式	東京市場
	地元地銀・ 第二地銀	国内銀行								(第1部)	米ドルスポット
	(%)	(%)								(円)	(円/米ドル)
平成30年	0.822	0.901	-	-	-	-	-	-	-	22,310.73	110.40
1年	0.759	0.861	-	-	-	-	-	-	-	21,697.23	108.99
令和2年	0.749	0.814	-	-	-	-	-	-	-	22,705.02	106.73
2年 III	0.724	0.816	-	-	-	-	-	-	-	22,906.34	106.20
IV	0.749	0.814	-	-	-	-	-	-	-	25,194.43	104.49
3年 I	0.751	0.809	-	-	-	-	-	-	-	29,001.71	106.09
II	0.743	0.805	-	-	-	-	-	-	-	28,983.39	109.50
III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28,554.00	110.09
2年 6月	0.706	0.814	△ 68.6	△ 73.7	△ 64.5	△ 36.0	△ 62.7	△ 64.1	△ 87.1	22,486.93	107.56
7月	0.707	0.813	-	-	-	-	-	-	-	22,529.47	106.78
8月	0.711	0.814	-	-	-	-	-	-	-	22,901.45	106.04
9月	0.724	0.816	△ 67.8	△ 73.0	△ 63.0	△ 41.3	△ 72.4	△ 57.4	△ 74.3	23,306.95	105.74
10月	0.728	0.817	-	-	-	-	-	-	-	23,451.44	105.24
11月	0.736	0.814	-	-	-	-	-	-	-	25,384.87	104.40
12月	0.749	0.814	△ 52.9	△ 54.2	△ 51.5	△ 30.0	△ 53.9	△ 49.4	△ 69.4	26,772.95	103.82
3年 1月	0.749	0.812	-	-	-	-	-	-	-	28,189.06	103.70
2月	0.748	0.809	-	-	-	-	-	-	-	29,458.80	105.36
3月	0.751	0.809	△ 34.7	△ 28.1	△ 41.1	△ 31.0	△ 38.0	△ 37.0	△ 57.9	29,315.30	108.65
4月	0.743	0.808	-	-	-	-	-	-	-	29,426.75	109.13
5月	0.741	0.807	-	-	-	-	-	-	-	28,515.21	109.19
6月	0.743	0.805	△ 15.7	△ 0.9	△ 28.8	△ 19.5	△ 29.7	△ 41.0	△ 19.4	28,943.23	110.11
7月	0.740	0.804	-	-	-	-	-	-	-	28,118.76	110.29
8月	0.735	0.802	-	-	-	-	-	-	-	27,692.73	109.84
9月	-	-	△ 29.7	△ 11.7	△ 46.2	△ 31.1	△ 41.1	△ 50.0	△ 58.1	29,893.57	110.17
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28,586.20	113.10

対前月(期)												
平成30年	△ 0.092	△ 0.045	-	-	-	-	-	-	-	-	2,101.70	△ 1.73
1年	△ 0.063	△ 0.040	-	-	-	-	-	-	-	△ 613.50	△ 1.41	
令和2年	△ 0.010	△ 0.047	-	-	-	-	-	-	-	1,007.79	△ 2.26	
2年 III	0.018	0.002	-	-	-	-	-	-	-	2,121.64	△ 1.42	
IV	0.025	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	2,288.09	△ 1.71	
3年 I	0.002	△ 0.005	-	-	-	-	-	-	-	3,807.28	1.60	
II	△ 0.008	△ 0.004	-	-	-	-	-	-	-	△ 18.32	3.41	
III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 429.39	0.59	
2年 6月	△ 0.003	△ 0.005	△ 11.2	△ 18.8	△ 4.7	△ 5.8	△ 0.4	0.6	△ 17.0	1,943.67	0.25	
7月	0.001	△ 0.001	-	-	-	-	-	-	-	42.54	△ 0.78	
8月	0.004	0.001	-	-	-	-	-	-	-	371.98	△ 0.74	
9月	0.013	0.002	0.8	0.7	1.5	△ 5.3	△ 9.7	6.7	12.8	405.50	△ 0.30	
10月	0.004	0.001	-	-	-	-	-	-	-	144.49	△ 0.50	
11月	0.008	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	1,933.43	△ 0.84	
12月	0.013	0.000	14.9	18.8	11.5	11.3	18.5	8.0	4.9	1,388.08	△ 0.58	
3年 1月	0.000	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	1,416.11	△ 0.12	
2月	△ 0.001	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	1,269.74	1.66	
3月	0.003	0.000	18.2	26.1	10.4	△ 1.0	15.9	12.4	11.5	△ 143.50	3.29	
4月	△ 0.008	△ 0.001	-	-	-	-	-	-	-	111.46	0.48	
5月	△ 0.002	△ 0.001	-	-	-	-	-	-	-	△ 911.54	0.06	
6月	0.002	△ 0.002	19.0	27.2	12.3	11.5	8.3	△ 4.0	38.5	428.02	0.91	
7月	△ 0.003	△ 0.001	-	-	-	-	-	-	-	△ 824.47	0.18	
8月	△ 0.005	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	△ 426.03	△ 0.45	
9月	-	-	△ 14.0	△ 10.8	△ 17.4	△ 11.6	△ 11.4	△ 9.0	△ 38.7	2,200.84	0.34	
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,307.37	2.92	
備考	(総合) 年・月末残ベース		前年同期と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から 「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期末時点)							日経平均(225種)	(期中平均値)	
資料 出所	日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」 日本銀行「金融経済統計月報」		(公財)福島県産業振興センター「中小企業景気動向調査」							日本経済新聞社	日本経済新聞社	

## 4 参考

### 1 中小企業景況レポート（福島県中小企業団体中央会） 10月分

#### 食品製造業

（1）漬物：10月は生野菜が安くなり、全体的に漬物の売上は厳しかった。今後人出が増え、おみやげ関係は売上が伸びてくると思われる。

（2）パン：原料の価格上昇は、今後大きな影響が出てくると思われる。新型コロナウイルスもいつ収束するのか、とても不安に感じている。

（2）味噌醤油：前年同月比較においては増加となったが、コロナ禍前の平均値までの回復とはなっていない。

（3）菓子：昨年の10月よりは減少傾向。2019年比では伸びている。昨年は地域振興券やG・O・T・Oキャンペーンなどの効果が良かった。

（4）酒造：少しずつ動き出していると感じられる。キャンペーン事業も始まり、販売増を期待したい。ただ、以前の状況には戻りきらないと考えており、新しい生活方式に合う販売を考えていきたい。

（5）乾麺：そばに続き、大豆・コーン・小麦の大幅な値上げとなっている。原材料の値上げが続いているため、小売価格の値上げが出来なければ中小零細企業の経営は厳しいものとなる。

（6）食品団地：新型コロナウイルスの感染は減少傾向であるが、イベント等の開催中止や小規模開催のため厳しい状況が続いている。今後は段階的な経済対策により消費回復が見込まれるが、原油高を含め原材料等が高騰しているため需給バランスを見ながらの生産対応となる。

#### 繊維工業

（7）ニット：新型コロナウイルス感染症の長期化により、仕事をやめる外注先の増加、関連企業の燃糸屋の廃業等により、少なからず納品に影響が出ている。さらに、原材料のひとつであるモヘアの値上がりなど厳しい状況の中、収益に結びつけるのは難しい状況。

（8）縫製業：先月同様、状況に変化はない。加工賃に関しては全体的に低い状態が続いている。11月、12月は受注が減る時期でもあるため今後の売上が懸念される。

#### 木材・木製品製造業

（9）製材業：原木について、雨が続き出材が減少したが、天候回復に伴い出材量も回復してきた。近隣のスギ柱材の強い引き合いから価格は上昇。東北での合板向け丸太の不足からB材の引き合いも強い。今後は季節的な要因や記念市開催から出材は増えると考えられる。製材について、一時あった品不足が緩和してきたが、土木用材の需要は

低調である。

## 印刷

(10) 印刷業：衆議院選挙で一部の組合員には特需があった。新型コロナウイルス感染拡大も収束し、イベントの実施の動きが出てきていることから、業況の見通しで好転が期待できる。

## 窯業・土石製品

(11) 生コン：令和3年10月の生コン出荷数量は、109,726 m<sup>3</sup>と対前年同月比-31.5%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比-10.3%、官公需が-47.8%であった。

### ○民需の動向

対前年同月比 - 10.3%

#### 対前年同月比増加地区

県北地区 : + 19.4% 風力発電事業工事、駅構内アプローチ工事等

白河地区 : + 6.3% バイオマス発電所建設、工場増設工事等

#### 対前年同月比減少地区

県中地区 : - 33.2% 医療施設建設工事、発電所建設工事等

いわき地区 : - 21.6% ホテル建設工事等

相双地区 : - 7.7% 津波等リスク低減対策工事、バスターミナル新築工事

等

会津地区 : - 9.3% 治療棟新築工事等

### ○官公需の動向

対前年同月比 - 47.8%

#### 対前年同月比増加地区

なし

#### 対前年同月比減少地区

県北地区 : - 61.3% 公共災害復旧工事等

県中地区 : - 33.9% 道路橋梁整備工事等

白河地区 : - 50.1% バイパス工事等

いわき地区 : - 48.1% 港湾改良工事等

相双地区 : - 60.1% 産業団地造成工事等

会津地区 : - 22.0% トンネル工事等

(12) 鉄工機械工業：材料の調達遅延や値上げに加え、受注先からの値引要請も重なり、収益悪化の可能性が懸念される状況である。

(13) 鉄構工業：前月に続いて、鋼材不足、高騰が続いており、現在決まっていた物件の建方納期の遅れが目立ってきている。

(14) 各種プラント機器：プラント設備関連業は、売上高が先月比110%と久しぶりに増加となった。前年同月比においても67%増、前年累計比においては不変と回復傾向である。新型コロナウイルスも落ち着きを見せてきた様子なので今後期待したい。

## その他の製造業

(15) 漆器：百貨店等の動きは全くない。ネット販売も昨年に比べると低調だが、事前に商品を確認した後に来店、購入する流れも目立つようになった。昨年のG・O・T・Oキャンペーンほどではないが、一昨年の消費税増税時よりも良くなっている。

## 卸売業

(16) 再生資源：古紙市場の国内需要は堅調に推移し、消費も増加基調である。年末に向けて回収増を期待。鉄スクラップ市況は10月も強基調で、電炉メーカーは鋼材値上げの動き。

(17) 米麦：10月に入り、米の集荷・農産物検査は最盛期を迎えた。業界全体では令和2年産米在庫が前年同期よりかなり多い。人口減少や食生活の洋風化がより進み需要減が見込まれるため、組合員から卸業者等への売渡価格が大幅に前年を下回っており、この傾向は当分続くと見込まれる。

## 小売業

(18) 共同店舗：本年度、久しぶりにイベントを開催し、今までにない賑わいを取り戻した。施設全体の売上・来店客数の底上げが出来たと思われる。売上・来店客数は前月を大きく上回った。新型コロナウイルス感染者が減少傾向であることも賑わった要因と考えられる。

(19) 石油：10月のWTI原油先物価格は、石炭価格や天然ガス価格の高騰などから世界的なエネルギー需要がひっ迫するとの見方が強まり、70ドル台半ばへ下落した後、再び上昇し一時85ドル台となった。県内小売価格は、原油価格の高騰により、仕入価格も毎週大幅に値上がりし、全県的に店頭価格が上昇した。長引く需要減少に加え、新型コロナウイルスによる販売不振や価格高騰による買い控えに見舞われ、業界は極めて厳しい状態が続いている。

(20) 水産物：サンマも中型が中心となるなど、本来の売れ筋商品が売りにくくなっている。寒さも増してきたことから、煮魚や鍋物商材に力をいれていきたい。

(21) 青果：先月の野菜単価の高騰から一転して例年並みの単価に戻った野菜が多く、売上の増加には繋がらなかった。山菜類もさほど高騰しなかった。まだまだ通常まで回復するには時間がかかると思われる。

(22) 家電：前年比90%台となり、3か月連続のマイナスとなった。新型コロナウイルス感染症による売上が減少した中小家電地域電気店に対して、行政及び全国電機商工組合の一時金交付、売上増進のキャンペーン等を進めていきたい。

## 商店街



(23) 商店街(福島市) : 夜の営業状況は引き続き悪い。給付金がなくなり客足が減った。

(24) 商店街(二本松市) : 新型コロナウイルスの落ち着きにより売上が回復したが、郊外大型店出店の影響で微増の状態。

(25) 商店街(郡山) : 10月は百貨店の催事・物産展があり、久しぶりに盛り上がりがあった。商店街が活気づくのは本当に久しぶりのこと。業種・店舗によって厳しい状況は続いているが、感染状況が落ち着いた状況で年末年始を迎えたい。

(26) 商店街(会津若松市) : 新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いてきたことで、客足が戻りつつあるが販売力が上がっていないように感じる。大きなイベントがなく厳しい状況が続いている。

(27) 商店街(南相馬市) : 新型コロナウイルスの勢いは落ち着きを見せているが、今月も各種イベント中止の影響で町中は静かな状況が続いている。また、飲食店についてもまだまだ予断を許さない状況。

## サービス業

(28) クリーニング : 秋の衣替え需要に期待するも売上の的には低調。原油高による石油系溶剤やボイラー燃料、関連資材(ポリ類・洗剤)等が値上がりしており、コロナ禍での売上減少に加えて、大きな問題となっている。

(29) 温泉旅館(福島市) : 県民割が発売されたが、既に宿分は売り切れ。一般予約が大きく動いており、その隙間に割引宿泊が入る状況。割引事業等が打ち切られた後に正常営業に戻れるか不安な状況。

(30) 温泉旅館(いわき市) : 県民割プラスも開始され、予約状況も前月に比較して好調の宿泊施設が多い。ただし、休前日に集中し、平日の予約の伸びがあまり良くない施設もあり厳しい状況は続いている。より多くの県民の方に安心して宿泊いただけるように感染対策をしっかりと行い、PRに務めたい。

(31) 理容業 : 新型コロナウイルス感染者は減少しているが、顧客の反応を見ると、行動はまだ自重しているように感じられる。業界では、急激な気温の低下による影響を受け、来店頻度が落ち込んだが、これは例年並みと受け止めており今後の経済活動と人流に期待する。

(32) 一般廃棄物運搬 : 企業が行っている浄化槽の保守点検及び清掃について、長期的には人口減少による業務量の減少が懸念される。短期的には、浄化槽設置数に大きな変化が無いため一定している。事業規模についても大きな変化は無く、時期を見た設備更新程度である。現在、従業員の高齢化が進んでおり、長期的な視点に立っての人員確保が課題となっている。

## 建設業

(33) 建設業(県南地区) : 公共土木工事が少しずつ増加し、河川災害復旧工事も渇水期に入り着工している。公共建築工事の発注も若干増加。民間土木ではメガソーラー関連が継続しているが、民間建築は横這いである。

(34) 管工事(県北地区) : 前月比及び前年度同月累計対比で給水・排水設備申請がともに減少している。

(35) 専門工事 : 業界全体としては堅調。ただし、高齢化や若手不足による人材の枯渇が進んでおり、将来的に人材不足が懸念される。

(36) 電気通信工事 : 仕入材料に値上がり傾向が見える。また、下請案件で人件費の高騰による販売価格の低下が予見される状況になってきた。現時点では収益状況に大きな変化は見られないが、今後の景況感にプラス材料が見い出せなかった。人材確保についての動きは出来ていたものの、採用に至らない不安定さが懸念される。

#### 運輸業

(37) トラック団地(県北地区) : 荷動きには若干の増加が見られるが、燃料価格の高騰が続いており収益状況が悪化している。

(38) ハイヤータクシー : 宣言解除で少し動きが出てきたが、まだまだ以前のようには戻っていないと感じている。

## 2 景気動向指数(福島県)

### 概 括

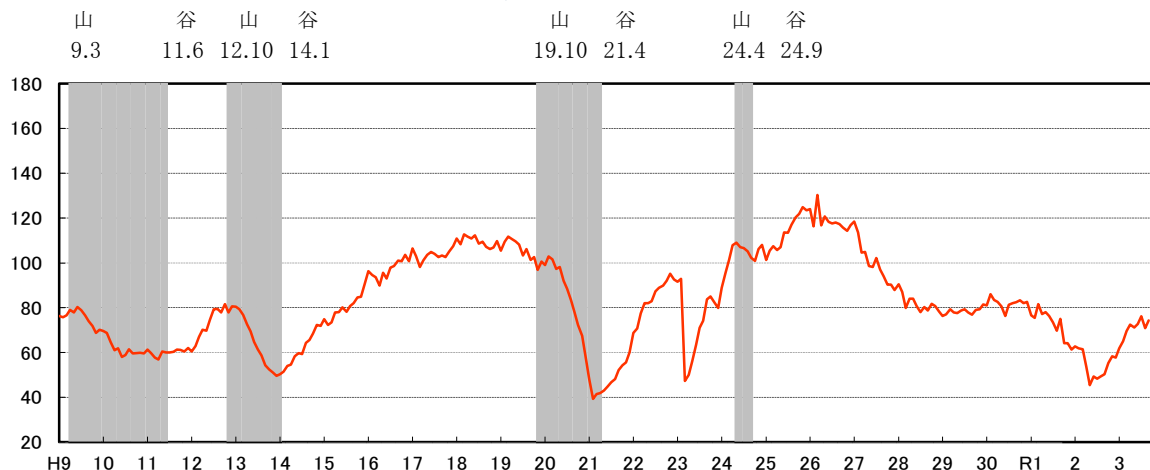
9月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数103.6ポイント、一致指数74.3ポイント、遅行指数87.8ポイントとなった。

先行指数は、前月(103.9ポイント)を0.3ポイント下回り、2か月連続の下降となった。

一致指数は、前月(70.8ポイント)を3.5ポイント上回り、2か月振りの上昇となった。

遅行指数は、前月(86.0ポイント)を1.8ポイント上回り、2か月振りの上昇となった。

図1 景気動向指数(CI)グラフ <一致指数> (H27=100)



※CI(Composite indexes)：景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

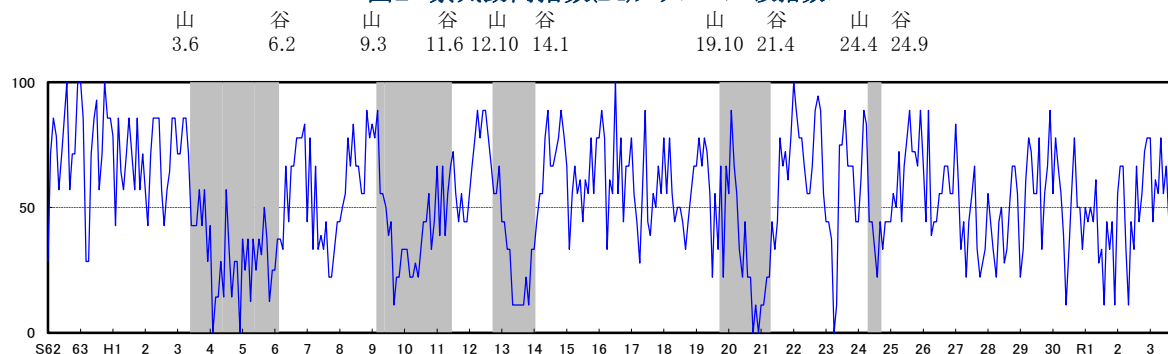
※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

区分	景気動向指数(CI指数)					
	福島県(令和3年11月30日公表)			全国(令和3年11月8日公表)(速報値)		
年月	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
R3年4月	99.8	72.5	86.6	103.5	95.1	94.0
5月	98.2	71.2	87.4	102.6	92.5	93.0
6月	104.4	72.8	84.3	104.2	94.6	94.2
7月	107.2	76.1	90.1	104.1	94.4	95.2
8月	103.9	70.8	86.0	101.3	91.3	94.1
<b>R3年9月</b>	<b>103.6</b>	<b>74.3</b>	<b>87.8</b>	<b>99.7</b>	<b>87.5</b>	<b>94.9</b>
採用指標数	7指標	9指標	5指標	11指標	9指標	9指標
資料	県:統計課「福島県景気動向指数」					
出所	国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

図2 景気動向指数(DI)グラフ <一致指数>



※DI(Diffusion Indexes)：景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。

おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

### 【景気基準日付設定～第15景気循環～】

本県の第15景気循環の山を「平成24年4月」、谷を「平成24年9月」と設定した。

景気拡張期間は36か月、景気後退期間は5か月となり、全循環は41か月となった。

### 3 「福島県金融経済概況」

令和3年11月12日 日本銀行福島支店

**県内景気は、新型コロナウイルス感染症や半導体不足の影響から、持ち直しの動きが鈍化している。**

(先月:県内景気は、新型コロナウイルス感染症や半導体不足の影響から、持ち直しの動きが鈍化している。)

最終需要の動向をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい外食や旅行等のサービス消費を中心に、持ち直しの動きがみられている。

住宅投資は、下げ止まっている。

設備投資は、前年度に見送られた投資や能力増強投資がみられており、持ち直している。

公共投資は、東日本大震災からの復興関連工事、東日本台風等の復旧関連工事の進捗から減少している。

鉱工業生産は、半導体不足などの供給制約に伴う減産が自動車関連を中心にみられており、持ち直しの動きが足踏みしている。

雇用・所得環境は、人員不足感が続いているものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きとなっている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症による個人消費や供給制約による生産面への影響に注意していく必要がある。

### 4 「月例経済報告」

令和3年10月15日 内閣府

**景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。**

(先月:景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。)

(基調判断)

- 個人消費は、弱い動きとなっている。
- 設備投資は、持ち直している。
- 輸出は、増勢が鈍化している。
- 生産は、このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。
- 企業収益は、感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。企業の業況判断は、一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。
- 消費者物価は、このところ底堅さがみられる。

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(政策態度)

政府は、東日本大震災からの復興・創生、激甚化・頻発化する災害への対応に取り組む。デフレからの脱却に向けて、大胆な金融政策、機動的な財政政策、成長戦略の推進に努める。

新型コロナウイルス感染症に対しては、19都道府県の緊急事態宣言及び8県のまん延防止等重点措置の全てを、9月30日をもって解除したが、様々な事態を想定し、ワクチン接種、治療薬の普及を図るとともに、医療提供体制を確保する。また、人流抑制等の影響を受けた方々への経済支援を実施する。同時に、ワクチン接種証明等も活用しながら、通常に近い社会経済活動を一日も早く取り戻すことができるよう取り組む。

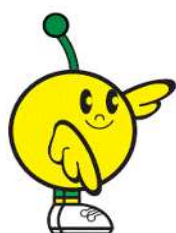
さらに、こうした課題に切れ目なく対応し、新型コロナウイルス対応に万全を期すとともに、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」による「新しい資本主義」を起動させ、国民の安全・安心を確保するため、新たな経済対策を策定する。その間も、新型コロナウイルスの感染状況や、企業や暮らしに与える影響には十分に目配りを行い、必要な対策は、予備費なども活用して、柔軟に行う。

日本銀行においては、企業等の資金繰り支援に万全を期すとともに、金融市場の安定を維持する観点から、金融緩和を強化する措置がとられている。日本銀行には、感染症の経済への影響を注視し、適切な金融政策運営を行い、経済・物価・金融情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

### 5 「最近の県経済動向」総合判断

総合判断	判断の 変化方向	10月(10月27日公表)	判断の 変化方向	11月(11月30日公表)
	前月据置 →	県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。	前月据置 →	県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。

「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。



ふくしま統計情報BOX

検索



#### ■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくなるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。一部の計数は速報値を用いており、確報訂正や遡及改定により、前回発表の計数と相違する場合があります。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(公財)福島県産業振興センターの中小企業景気動向調査結果(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

#### ■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、福島県統計課 『最近の県経済動向』から抜粋(又は作成)した旨を明記してください。

福島県企画調整部統計課

〒960-8043 福島市杉妻町2番16号

電話 024(521)7148 内線 (2432)

FAX 024(521)7914

E-mail toukei@pref.fukushima.lg.jp